NTT docomo

ドコモ光電話ご利用ガイド

ドコモ光電話のサービス概要

オプションサービスの概要

ドコモ光

目次

ドコモ光電話のサービス概要

1 ドコモ光電話のサービス概要 8
■ドコモ光電話とは 8
ドコモ光電話の提供条件 8
■ドコモ光電話の特長 9
■ドコモ光電話のご利用方法 10
電話のかけ方 10
国際電話のかけ方 10
発信者番号通知、非通知のしかた 10
接続できない番号について 11
2 ドコモ光電話の料金 13
■月々の使用料 13
月額使用料 13
ドコモ光電話ルーター使用料 14
オプションサービス使用料 14
■通話料・通信料 15
■工事料 18
3 ご利用上の注意事項 19
緊急通報などについて 19
接続できない番号について 19
現在お使いの電話番号を継続してご利用の場合 19
一部ご利用できないサービスがあります 20
一部ご利用できない電話機があります 20
転用について 21
ご利用機器について 21
発信先が応答しない場合の自動切断について 22
着信課金サービスをご利用の場合 22
ガス検針などの警報・検針サービスをご利用の場合 22
セキュリティサービスをご利用の場合 23
料金のお支払について 23
料金明細送付サービスについて 24
料金明細発行サービスについて 24
電話帳の掲載および番号案内について 24
工事について 25

目次

国際通話について 25

発信者番号通知について 25

4 ドコモ光電話対応ルーターについて 26

■ドコモ光電話対応ルーターに接続可能な端末 26

ドコモ光電話対応ルーターに接続可能な端末台数 26

ドコモ光電話対応ルーターの対応OS 26

■ドコモ光電話対応ルーターのバージョンアップ 27

バージョンアップ方法 27

■ドコモ光電話対応ルーターの再起動 28

■ドコモ光電話対応ルーターの電話機能設定 29

電話機能設定の概要 29

電話機のダイヤル操作による設定 31

5 IP電話対応機器のご利用について 33

■050IP電話対応機器のご利用について 33

【参考】ドコモ光電話で発信可能な国／地域一覧 34

目次

オプションサービスの概要

6 発信者番号表示／ナンバー・リクエスト 39
■発信者番号表示のサービス概要 39
「発信者番号表示」の機能 39
他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項 40
■発信者番号表示のご利用方法 41
電話機等の確認 41
電話機等の接続に関する注意点 41
電話機等の主な接続例 41
ディスプレイ等への表示内容 42
■ナンバー・リクエストのサービス概要 43
「ナンバー・リクエスト」の機能 43
ご利用上の留意事項 43
他のオプションサービスと併せてご利用の場合の留意事項 43
■ナンバー・リクエスト開始／停止の設定操作 44
ナンバー・リクエストを開始する 44
ナンバー・リクエストを停止する 44
7 通話中着信 46
■通話中着信のサービス概要 46
「通話中着信」の機能 46
ご利用上の留意事項 47
他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項 48
■通話中着信のご利用方法 49
8 転送でんわ 50
■転送でんわのサービス概要 50
「転送でんわ」の機能 50
ご利用上の留意事項 53
他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項 55
ドコモ光電話「転送でんわ」と加入電話「ボイスワープ」および「INSボイスワープ」との違い 56
9 迷惑電話ストップサービス 57
■迷惑電話ストップサービスのサービス概要 57
「迷惑電話ストップサービス」の機能 57
ご利用上の留意事項 58
他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項 58

目次

■迷惑電話ストップサービスの設定操作 60
着信を拒否したい相手の登録方法 60
最新登録電話番号解除方法 60
一括解除方法 61
効果確認方法 61
ガイダンスの内容 62
10 着信お知らせメール 63
■着信お知らせメールのサービス概要 63
「着信お知らせメール」の機能 63
他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項 63
■着信お知らせメールの設定操作 64
着信お知らせメールサービスメニューへ接続 64
送信先メールアドレス設定 66
開始／停止設定 67
メール送信条件設定 67
お知らせ対象電話番号設定 68
11 ダブルチャネル／追加番号 69
■ダブルチャネルのサービス概要 69
「ダブルチャネル」の機能 69
他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項 69
■追加番号のサービス概要 70
「追加番号」の機能 70
ご利用上の留意事項 70
他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項 70
■追加番号のご利用方法 71
追加番号に関する設定方法 72
12 テレビ電話／高音質電話／データ接続 74
■テレビ電話のサービス概要 74
「テレビ電話」の機能 74
ご利用上の留意事項 74
他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項 75
「テレビ電話」のご利用方法 75
■高音質電話のサービス概要 76
「高音質電話」の機能 76
ご利用上の留意事項 76

目次

他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項 76
「高音質電話」のご利用方法 76
■データ接続のサービス概要 77
「データ接続」の機能 77
ご利用上の留意事項 77
他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項 77

ドコモ光電話のサービス概要

1 ドコモ光電話のサービス概要

ドコモ光電話とは

「ドコモ光電話」は、当社の光ブロードバンドサービス「ドコモ光」をご利用のお客さまがご利用になれる光 IP電話サービスです。
ご利用中の電話番号や電話機はそのままで、加入電話、INSネット、ひかり電話＊への通話は全国どこにかけても3分8.8円の通話料でご利用になれます。
また、オプションサービスと繰越利用が可能な通話料が一体となった料金プラン「ドコモ光電話バリュー」もご用意。さらに、便利におトクにご利用になれます。

＊本書では特に記述が無い限り、NTT東日本・NTT西日本が提供する「ひかり電話」、当社が提供する「ドコモ光電話」、当社以外の事業者がNTT東日本・NTT西日本の「ひかり電話」を自社サービスとして提供する「光IP電話サービス」の総称として用います。

ドコモ光電話の提供条件

- 「ドコモ光電話」は、「ドコモ光」のご契約が必要です（別途契約料、工事費、月額使用料がかかります）。
- 「ドコモ光電話」のご利用には、当社がレンタルで提供する「ドコモ光電話対応ルーター」などが必要です 。

- 「お話し中調べ（114）」など一部かけられない番号があります。
- 県間通話に関しては株式会社エヌ・ティ・ティ エムイーのサービスまたはNTTドコモビジネス株式会社のサービスをご利用いただく場合があります。国際通話に関してはNTTドコモビジネス株式会社のサービスをご利用いただきます。
- 当社の設備などの状況により、サービスのご利用をお待ちいただいたり、ご利用いただけない場合があります。また、お客さまのご利用場所および当社設備の状況により、ご利用までの期間は異なります。

ドコモ光電話の特長

ご利用中の電話番号・電話機がそのまま使える

現在ご利用の電話番号＊1や電話機＊2をそのままご利用になれます。

＊1　一部そのままご利用になれない電話番号があります。また、現在ご利用中の電話番号をそのまま利用する場合、別途工事費がかかります。

＊2　「ISDN対応電話機」、「G4FAX」など、ご利用になれない電話機があります（アダプター等の追加によりご利用になれるISDN対応電話機もございます）。

加入電話への通話料は全国どこにかけても3分8.8円

加入電話、INSネット、ひかり電話への通話は全国どこにかけても3分8.8円でご利用になれます。

※携帯電話への通話などについては通話料が異なります。
※「テレビ電話」の通話料および「データ接続」の通信料については料金が異なります。

音声品質は加入電話相当

音声パケットを優先して扱うので、加入電話相当の音声品質を実現しています。

緊急機関への通報もOK

110番・119番などの緊急機関への通報もご利用になれます。＊3

＊3　停電時は、緊急通報を含む通話ができません。

自分にあった料金プランが選べておトク

お客さまのご利用状況にあった料金プランがお選びになれます。

【選べる料金プラン】

・ドコモ光電話…… 月額使用料がおトク

・ドコモ光電話バリュー …… オプションサービスをご利用される方におすすめ

テレビ電話、高音質電話、データ接続が基本サービスとして利用可能

「ドコモ光電話」なら、「高品質で滑らかな映像のテレビ電話」や「クリアな音質の電話」、「高画質で安価なFAX通信やセキュリティの高いファイル共有」などがご利用になれます。

※別途、対応機器が必要です。
※NTT東日本・NTT西日本が提供するひかり電話から「ドコモ光電話」に「転用」＊4された一部のお客さまにおいては、別途お申込みが必要となる場合があります。

＊4　NTT東日本・NTT西日本が提供する「フレッツ光」、「ひかり電話」をご利用中のお客さまが、契約IDや電話番号をそのままに当社の提供する「ドコモ光」、「ドコモ光電話」に契約変更することを「転用」といいます。

ドコモ光電話のご利用方法

■ 電話のかけ方

電話のかけ方は、従来の加入電話と同じです。

※最後の番号をダイヤルしてから数秒後に発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「＃（シャープ）」を押してください。
［電話機のダイヤル種別をプッシュ信号（PB）にする必要があります。］
※「ドコモ光電話」で自動音声応答装置（IVR）等をご利用になる場合は、電話機のダイヤル種別をプッシュ信号（PB）にしてご利用ください。

■ 国際電話のかけ方

「ドコモ光電話」では、国際通話に関してはNTTドコモビジネス株式会社のサービスをご利用いただきます。

※国際電話を使用しない場合は「国際電話の発信規制」をかけることも可能です。詳しくは当社までお申出ください。

国際電話であることを示す番号 ＋ カントリーコード ＋ 相手国国内エリアコード

010 ＋ 国番号 ＋ 市外局番 ＋ 電話番号

（または 010 ＋ 国番号 ＋ 携帯電話番号 ）

例 ニューヨーク（0212）の123-4567番に電話する場合

010 ＋ 1 ＋ 212 ＋ 123 - 4567

- 010：国際電話であることを示す番号
- 1：国番号
- 212：ニューヨークの市外局番

（相手の市外局番、および携帯電話番号が0から始まる場合、最初の0を取った番号をダイヤルします。
※一部例外地域もあります。）

■ 発信者番号通知、非通知のしかた

●「通知」をお選びの方

今までどおりのかけ方で、電話番号を通知します。
ただし、相手の電話番号の前に「184」をダイヤルすると、その発信に限り、電話番号は通知されません。

「通知」をお選びの場合

●「非通知」をお選びの方

今までどおりのかけ方で、電話番号を通知しません。
ただし、相手の電話番号の前に「186」をダイヤルすると、その発信に限り、電話番号を通知することができます。

「非通知」をお選びの場合

※お選びいただいている番号通知方法の変更は、当社へお申込みください。
※指定着信機能を設定したポートから、電話番号を通知して発信した場合、電話番号のみ通知され、指定着信番号は通知されません。

※国際通話等における発信番号通知について
国際通話等での発信電話番号通知は、相手国側の中継事業者網の設備状況により通知できない場合があります。そのため、相手側端末への表示を保障するものではございませんので、ご了承願います。

■ 接続できない番号について

「ドコモ光電話」では、加入電話等と異なり、以下「接続可否一覧」のとおり接続できない番号があります。ご利用の際はご注意ください。

●【1XY】番号

電話番号	サービス名等	可否
104＊1	番号案内　※2026年3月31日にサービス提供を終了いたします	○
110	警察（緊急通報）	○
113＊2	故障受付	○
114	お話し中調べ	×
115	電報受付	○
116＊3	営業受付	○
117	時報	○
118	海上保安（緊急通報）	○
119	消防（緊急通報）	○
135	特定番号通知機能	×
136	ナンバー・アナウンス/ナンバーお知らせ136	×
141	でんわばん/二重番号サービス	×
142	ボイスワープ	○
144	迷惑電話おことわりサービス	○
145	キャッチホンⅡ	×
146	キャッチホンⅡ	×
147	ボイスワープ（ボイスワープセレクト機能）	○
148	ナンバー・リクエスト	○
151	メンバーズネット	×
152	メンバーズネット	×
159	空いたらお知らせ159	×
161	ファクシミリ通信網	×
162	ファクシミリ通信網	×
165	メール送受信	×
171	災害用伝言ダイヤル	○
177＊4	天気予報　※2025年3月31日にサービス提供を終了いたしました	○
184	発信者番号非通知	○
186	発信者番号通知	○
188	消費者ホットライン	○
189	児童相談所虐待対応ダイヤル	○

＊1　発信者電話番号通知が必須のため、非通知設定が有効の状態での発信の場合はご利用いただけません。

＊2　NTT東日本・NTT西日本の電話サービスの故障等に関するご相談の受付です。「ドコモ光電話」の故障等に関するご相談は「0120-800-000」へおかけください。

＊3　NTT東日本・NTT西日本の各種サービスおよび電話の新設・移転等のご注文やお問い合わせの受付です。「ドコモ光電話」の各種サービスおよび電話の新設・移転等のご注文やお問い合わせは「0120-800-000」へおかけください。

＊4　2025年3月31日をもってサービスを終了いたしました。なお、ガイダンスが流れている間は通話料がかかりますのでご注意ください。

●【00XY】番号等　事業者識別番号

「ドコモ光電話」から電気通信事業者を指定した発信（0036や0033など番号の頭に「00XY」を付与する番号）はできません。

●【0AB0】番号

電話番号	サービス名等	可否
0120	フリーアクセス／フリーダイヤル等	○ ＊4
0170	伝言ダイヤル	×
0180	テレゴング／データドーム	×
0570	ナビダイヤル	○ ＊5
0800	フリーアクセス等	○ ＊4
0910	公専接続	×
0990	災害募金番組＊6	○

＊4　フリーアクセスやフリーダイヤル等のご契約者の契約内容によっては接続できない場合があります。

＊5　NTTドコモビジネス株式会社が提供するナビダイヤルのみ接続できます。ただし、ナビダイヤルのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容にしている場合、接続できません。

＊6　激甚災害発生時に災害募金番組が提供された場合にご利用いただけます。

●【0A0】番号

電話番号	サービス名等	可否
010＊7	国際通話	○
050	IP電話	○
070／080／090	携帯電話	○

＊7　国際フリーダイヤル等（「010-800」で始まる番号）には接続できません。

●【＃＋ABCD】番号

電話番号	サービス名等	可否
＃7000～＃9999	＃ダイヤル（一般加入電話などで提供のもの）	×
＃7000～＃9999	ひかり電話＃ダイヤル等	○ ＊9

＊9　ひかり電話＃ダイヤル等のご契約者の契約内容によっては接続できない場合があります。

月々の使用料

■ 月額使用料

料金プラン	月額使用料	月額使用料に含まれるオプションサービス	月額使用料に含まれる通話料分*1
ドコモ光電話	550円	—	—
ドコモ光電話 バリュー	1,650円	・発信者番号表示 ・ナンバー・リクエスト ・通話中着信 ・転送でんわ ・迷惑電話ストップサービス ・着信お知らせメール	528円分の通話料 〈最大3時間相当〉 余った通話分は 翌月に繰越できます*2

＊1 0AB～J番号の固定電話（NTT東西提供の加入電話、ISDN、ドコモ光電話、NTT東西および他社の光コラボレーション事業者の提供するひかり電話、他社直収電話、他社IP電話、CATV事業者の提供する固定電話）、テレビ電話、時報（117）、天気予報（177、市外局番+177含む）、電話案内番号料（104）※番号案内料除く、災害用伝言ダイヤル（171）、フリーアクセス/フリーダイヤル（0120）（0080）への通話・通信が対象。携帯電話、050IP電話、国際電話、義援金募集番組（0990）、消費者ホットライン（188）、ナビダイヤル（0570）への通話・通信、データ接続での通信は対象外。
月額使用料に含まれる通話料は、音声通話3分8.8円、利用帯域2.6Mbpsまでのテレビ電話3分16.5円、利用帯域2.6Mbpsを超えるテレビ電話3分110円で計算し、ご利用開始月の翌月から適用となります。

＊2 翌月に使い切らなかった場合、無効となります。

※オプションサービスをご利用の場合は、別途使用料が必要となります。

※お客さまのご利用になる電話番号数に応じて、1番号あたり3.3円／月のユニバーサルサービス料をご負担いただいております。

※お客さまのご利用になる電話番号数に応じて、1番号あたり1.1円／月の電話リレーサービス料をご負担いただきます。

ユニバーサルサービス料のご負担について	ユニバーサルサービス制度は、NTT東日本・西日本によるユニバーサルサービス（加入電話・公衆電話・緊急通報）の提供の確保に必要な費用の一部を通信事業者全体で、電話番号数に応じて負担する制度です。ドコモでは、ユニバーサルサービス制度の趣旨に照らし、お客さまのご利用になる電話番号数に応じてユニバーサルサービス料をご負担いただいております。
電話リレーサービス料のご負担について	電話リレーサービスの制度は、公共インフラとしての電話リレーサービスの提供を確保するために必要な費用を、ドコモを含めた電話提供事業者が電話番号数に応じて負担する制度です。ドコモでは、電話リレーサービスの目的や趣旨に鑑み、電話をご利用いただいているお客さまに対して、ご利用の電話番号数に応じ、 2021年7月ご利用分から「電話リレーサービス料」として、お客さまにご負担いただいております。

参 考

「0AB～J」（ゼロエービージェイ）とは、一般の固定電話に割り当てられる電話番号の割り当て形式のこと。加入電話は、0で始まり9桁の数字が続く「03-XXXX-XXXX」などの番号が割り当てられます。総務省が定める運営条件を満たせばIP電話（インターネットで利用されるパケット通信を利用して提供される電話サービス）でも利用できます。 0AB～J番号を利用する代表的な固定電話には、以下があります。

加入電話	メタル回線（光回線ではない）を用いた電話回線。「アナログ回線」とも呼ばれる。
ISDN	「INSネット」「総合デジタル通信サービス（デジタル回線）」とも言われるもので、ターミナルアダプタ（TA）をお客さま宅内に設置することで、同時に2つの通話やデータ通信を行うことができる電話回線。
ひかり電話	NTT東西が提供するIP電話サービス*1（ひかり電話・ひかり電話A・法人向けひかり電話*2等）。NTT東西から卸提供を受け、光コラボレーション事業者が提供するサービスも含む。
他社直収電話	NTT東西以外が提供する加入電話。
他社IP電話	NTT東西・光コラボレーション事業者以外が提供するIP電話サービス。

＊1 IP（Internet Protocol・インターネットプロトコル）という通信方式を利用した電話サービス
＊2 NTT東西が提供する「ひかり電話オフィスタイプ」「ひかり電話オフィスA」「ひかり電話ビジネスタイプ」「ひかり電話ナンバーゲート」の総称

2 ドコモ光電話の料金

■ ドコモ光電話ルーター使用料

ルーター種別	月額使用料	
ドコモ光電話対応 ルーター	無料	
ドコモ光電話対応 無線LANルーター	東日本エリア	330円
	西日本エリア	110円

※東日本エリア:北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野の計17都道県エリア西日本エリア:富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の計30府県エリア

■ オプションサービス使用料

サービス	月額使用料	単位	ドコモ光電話バリューの月額使用料に含まれるオプションサービス
発信者番号表示*1	440円	1利用回線ごと	○
ナンバー・リクエスト*2	220円	1利用回線ごと	○
通話中着信	330円	1利用回線ごと	○
転送でんわ	550円	1番号ごと	○
迷惑電話ストップサービス*3	220円	1利用回線ごと または1番号ごと	○
着信お知らせメール	110円	1番号ごと	○
ダブルチャネル	220円	1チャネルごと	―
追加番号*4*5	110円	1番号ごと	―
テレビ電話	―	1利用回線ごと	―

＊1 「発信者番号表示」のご利用には、対応電話機が必要です。

＊2 「ナンバー・リクエスト」のご利用には、あわせて「発信者番号表示」のご契約が必要です。

＊3 「追加番号」をご利用の場合、希望される番号ごとに「迷惑電話リスト」を持つ(個別契約)か、全番号に共通した「迷惑電話リスト」を持つ(共通契約)か、選択することができます。

＜参考＞2番号をご利用の場合に選択可能な利用パターン

1番号のみ「迷惑電話リスト」を利用する場合:個別契約で、220円×1リスト=220円／月

2番号の各々に対し、「迷惑電話リスト」を利用する場合:個別契約で、220円×2リスト=440円／月2番号に対し、共通の「迷惑電話リスト」を利用する場合:共通契約で、220円×1リスト=220円／月

＊4 ・お客さまのご利用になる電話番号数に応じて、1番号あたり3.3円／月のユニバーサルサービス料をご負担いただいております。

・お客さまのご利用になる電話番号数に応じて、1番号あたり1.1円／月の電話リレーサービス料をご負担いただいております。

※他社が提供するひかり電話対応機器では、オプションサービスをご利用になれない場合がございます。詳しくは対象機器のマニュアルをご確認ください。

通話料・通信料

区 分			通話料・通信料	
			東日本エリア	西日本エリア
音声	固定電話(0AB～J番号＊1)への通話＊2		8.8円／3分	
	携帯電話への通話 ＊3		17.6円／60秒	
	050IP電話への通話 ＊3＊7		11.55円／3分	
データ接続 ＊3＊4＊5	データ接続対応機器から データ接続対応機器への データ通信	利用帯域：64kbpsまで	1.1円／30秒	
		利用帯域：64kbps超 ～512kbpsまで	1.65円／30秒	
		利用帯域：512kbps超 ～1Mbpsまで	2.2円／30秒	
テレビ電話＊4	テレビ電話対応機器から テレビ電話対応機器への テレビ電話通信＊8	利用帯域2.6Mbpsまで	16.5円／3分	
その他	上記以外の通信＊9 （音声・データ接続・テレビ電話 を複数同時利用した場合等）	利用帯域2.6Mbps超	110円／3分	
国際通話（例） ＊3＊6	アメリカ（本土）への通話		9円／60秒（免税）	
	中華人民共和国への通話		30円／60秒（免税）	
	大韓民国への通話		30円／60秒（免税）	
	※相手国内の加入電話にかける場合も携帯電話等にかける場合も料金は一律です。 ※国際通話料金の場合、消費税は不要です。			

＊1　NTT東西提供の加入電話、ISDN、ドコモ光電話、NTT東西・他社の光コラボレーション事業者の提供するひかり電話、他社直収電話、他社IP電話、CATV事業者の提供する固定電話、時報（117）、天気予報（177、市外局番＋177含む）。

＊2　「ドコモ光電話バリュー」の月額使用料に含まれる無料通話分の対象通話先となります。ただし「災害募金番組」への通話は対象外となります。県間通話に関しては、株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー、株式会社エヌ・ティ・ティ ネオメイトまたは、NTTドコモビジネス株式会社のサービスをご利用いただく場合があります。

＊3　「ドコモ光電話バリュー」の月額使用料に含まれる無料通話分の対象外通話先となります。

＊4　2010年5月31日以前から「フレッツ 光ネクスト」のひかり電話をご利用だったお客さま、および「Bフレッツ」のひかり電話をご利用で「フレッツ 光ネクスト」にサービス移行されたお客さまが、「テレビ電話」「高音質電話」をご利用いただいていなかった場合は別途お申込みが必要です。

＊5　「データ接続」を複数同時利用した場合、利用帯域の合計が1Mbps超～2.6Mbpsまでは16.5円／3分、2.6Mbps超は110円／3分となります。

＊6　国際通話に関してはKDDI株式会社のサービスをご利用いただきます。

＊7　2023年12月31日までの通話料は、グループBは11.55円／3分、グループCは11.88円／3分、2024年1月1日より通話グループを統合し、通話料は11.55円／3分になります。

＊8　「ドコモ光電話バリュー」の月額使用料に含まれる無料通話分の対象通話先となります。

＊9　利用帯域の合計に対して適用します。テレビ電話は「ドコモ光電話バリュー」の月額使用料に含まれる無料通話分の対象通話先となります。

●携帯電話／050IP電話の事業者名

区分	接続する事業者名
携帯電話	株式会社NTTドコモ 沖縄セルラー電話株式会社 KDDI株式会社 ソフトバンク株式会社＊6 楽天モバイル株式会社＊7
050IP電話＊23	株式会社STNet、株式会社QTnet＊8、 株式会社オプテージ＊9、ソフトバンク株式会社＊10＊11＊15＊22、 中部テレコミュニケーション株式会社、東北インテリジェント通信株式会社、 楽天モバイル株式会社＊12＊13＊16＊21、株式会社エネルギア・コミュニケーションズ NTTドコモビジネス株式会社＊14＊27、株式会社NTTドコモ、 KDDI株式会社、ZIP Telecom株式会社、 アルテリア・ネットワークス株式会社、Coltテクノロジーサービス株式会社＊17、 株式会社アイ・ピー・エス＊18、株式会社NTTぷらら＊19、コムスクエア株式会社＊20 株式会社ハイスタンダード＊24、フリービット株式会社＊25 株式会社メディアアドベンチャー＊26

＊6　旧ソフトバンクモバイル株式会社
＊7　2019年10月1日より追加
＊8　2017年7月1日より「九州通信ネットワーク株式会社」から社名変更
＊9　2019年4月1日より「株式会社ケイ・オプティコム」から社名変更
＊10　2015年4月1日～6月30日の商号はソフトバンクモバイル株式会社
＊11　旧ソフトバンクBB株式会社
＊12　旧フュージョン・コミュニケーションズ株式会社
＊13　2019年7月1日より「楽天コミュニケーションズ株式会社」から社名変更
＊14　2016年9月13日午前2時以降、株式会社エヌ・ティ・ティ エムイーへの発信含む
＊15　旧ソフトバンクテレコム株式会社
＊16　旧株式会社パワードコム
＊17　2016年11月21日より追加
＊18　2017年7月1日より追加
＊19　2017年12月12日午前2時以降、「グループ2-B」から「グループ2-C」に変更
＊20　2019年12月1日より追加
＊21　2021年1月1日より追加
＊22　2022年11月1日より「グループC」のソフトバンク株式会社＊10＊15を「グループB」に変更
＊21　2023年5月1日より「グループB」「グループC」の楽天モバイル株式会社を「グループB」のみに変更
＊23　2024年1月1日より050IP電話のグループ
＊24　2025年4月1日より追加
＊25　NTT東日本エリアは2025年4月22日より、NTT西日本エリアは2025年4月8日より追加
＊26　NTT東日本エリアは2025年6月27日より、NTT西日本エリアは2025年6月25日より追加
＊27　2025年7月1日より「エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社」から社名変更

2 ドコモ光電話の料金

● 各特番発信時の料金は以下のとおりとなります。

番号	サービス	通信料	利用料
104	番号案内 *9	無料	440円／1案内 *6
110	警察（緊急呼）	無料	無料
117	時報	8.8円／3分	無料
118	海上保安（緊急呼）	無料	無料
119	消防（緊急呼）	無料	無料
171	災害用伝言ダイヤル	無料	無料
177	天気予報 *8	8.8円/3分	無料
188	消費者ホットライン *7	有料 *1	無料
189	児童相談所虐待対応ダイヤル	無料	無料
0120	フリーアクセス／ フリーダイヤル等 *2	無料	無料
0570	ナビダイヤル *3 *7	有料	無料
0800	フリーアクセス／ フリーダイヤル等 *2	無料	無料
0990	義援金募集番組 *7	8.8円/3分 *4	番組提供者の定める料金 *5 110円／1回 または 220円／1回

＊1 ナビダイヤルでの接続となります。
＊2 フリーダイヤルはNTTドコモビジネス株式会社が提供するサービスです。詳細につきましては、提供事業者へお問い合わせください。
＊3 ナビダイヤルはNTTドコモビジネス株式会社が提供するサービスです。詳細につきましては、提供事業者へお問い合わせください。
＊4 義援金募集番組の通話料は、事前通知ガイダンスの後から課金されます。
＊5 義援金募集番組は、通話料のほかに、番組提供者の定める料金(義援金)がかかります(ピーッという音の後から課金されます)。また、ご利用された料金(義援金)は当社が番組提供者に代わって、「ドコモ光電話」のご利用料金等と合わせて料金回収し、その全額を番組提供者様へ支払います。
＊6 2023年5月1日より、440円／1案内に改定いたしました。
＊7 「ドコモ光電話バリュー」の月額使用料に含まれる無料通話分の対象外通話先となります。
＊8 2025年3月31日にサービス提供を終了いたしました。なお、ガイダンスが流れている間は通話料がかかりますのでご注意ください。
＊9 2026年3月31日にサービス提供を終了いたします。

工事料

下記金額は、「ドコモ光電話」に関する工事料＊1です。「ドコモ光」を新たに契約してご利用される場合は、別途「ドコモ光」のアクセスサービスに関わる新規費用が必要です。

区 分			単 位	料 金
基本工事料＊2	無派遣工事（工事担当者がお伺いしない工事）		1工事ごと	2,200円
	派遣工事（工事担当者がお伺いする工事）		1工事ごと	8,250円
交換機等工事料	基本機能		1利用回線ごと	1,100円
		テレビ電話・高音質電話・データ接続通信＊3	1利用回線ごと	無料
	「ドコモ光電話バリュー」＊4＊5		1利用回線ごと	1,100円
	オプションサービス	通話中着信＊4	1利用回線ごと	1,100円
		転送でんわ＊4	1番号ごと	1,100円
		発信者番号表示＊4	1利用回線ごと	1,100円
		ナンバー・リクエスト＊4	1利用回線ごと	1,100円
		迷惑電話ストップサービス＊4	1利用回線ごとまたは1番号ごと	1,100円
		着信お知らせメール＊4	1番号ごと	1,100円
		ダブルチャネル＊4	1チャネルごと	1,100円
		追加番号＊4	1番号ごと	770円
	同番移行＊6		1番号ごと	2,200円
	発信電話番号通知の変更＊7		1番号ごと	770円
機器工事料	設置料＊8		1装置ごと	1,650円
	設定料＊9		1装置ごと	1,100円

＊1　NTT東日本・NTT西日本のひかり電話をご利用中で「ドコモ光」へ転用の場合、工事料は発生しません。ただし、戸建・マンション間のプラン変更を伴う場合、またはマンションタイプで配線方式の変更を伴う場合に限り、「ドコモ光電話」の交換機等工事料1,100円が発生いたします。

＊2　「ドコモ光」と「ドコモ光電話」を同時にお申込みされる場合は、「ドコモ光電話」の基本工事料は適用いたしません。

＊3　2010年5月31日までに「テレビ電話」「高音質電話」をご利用されていない場合に適用される工事料です。

＊4　「ドコモ光電話」と同時に工事される場合は適用いたしません。

＊5　「ドコモ光電話」から「ドコモ光電話バリュー」へ変更する場合にかかります。「ドコモ光電話バリュー」から「ドコモ光電話」へ変更する場合はかかりません。

＊6　加入電話等を利用休止して、同一電話番号を「ドコモ光電話」でご利用される場合の費用です。別途、加入電話等の利用休止工事料はNTT東日本、NTT西日本へお支払いただく必要があります。

＊7　「番号通知」「番号非通知」に関わる工事料金は、「ドコモ光電話」の新規工事および転居工事と同時に工事する場合は無料です。

＊8　ドコモ光電話対応ルーターの開梱、設置、開通試験、片付け等に関わる工事料です。「ドコモ光 1ギガ」で「ドコモ光電話」ご利用のお客さまが「ドコモ光　10ギガ」で「ドコモ光電話」を継続利用の場合、追加で機器設置工事料1,500円が必要となります。

＊9　内線等電話設定、鳴り分け等の電話設定等、ドコモ光電話対応ルーターの設定を当社にご依頼いただく場合に発生する工事料です。お客さまご自身で設定等行う場合は発生しません。

※お客さま宅内での「ドコモ光」、「ドコモ光電話」、「ドコモ光テレビオプション（テレビ接続工事料・追加工事料を除く）」に関する工事費の合計が31,900円を超える場合、31,900円ごとに3,850円が加算されます。

3 ご利用上の注意事項

緊急通報などについて

- 停電時は緊急通報を含む通話機能がご利用いただけません。停電対応機器などをご利用いただくことで、一定時間、通話が可能となる場合があります。
- 緊急通報番号（110/119/118）へダイヤルした場合、発信者番号通知の通知・非通知にかかわらず、「ドコモ光電話」のご利用者の住所・氏名・電話番号を接続先（警察／消防／海上保安）に通知します（一部の消防を除く）。なお、「184」をつけてダイヤルした場合には通知されませんが、緊急機関側が、人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関がご利用者の住所・氏名・電話番号を取得する場合があります。

接続できない番号について

- 「ドコモ光電話」では、一部接続できない番号があります。詳しくはP.11～12をご覧ください。
- 「ドコモ光電話」から電気通信事業者を指定した発信（番号の頭に「00xx」を付与する番号）はできません。
- 一部の「1xx」の番号への発信はできません。（108（自動コレクトコール）、114（お話し中調べ）など）
- フリーダイヤルご契約者さまが「ドコモ光電話」を含むIP電話を着信させない契約としている場合は「ドコモ光電話」から当該フリーダイヤルへの接続はできません。
- ＃ダイヤル（一般加入電話などで提供のもの）への発信はできません。

現在お使いの電話番号を継続してご利用の場合

- 現在ご利用中の電話番号を「ドコモ光電話」で利用することができます。（以降、本手続きを「番号ポータビリティ」といいます）
- 番号ポータビリティをご希望の場合、現在ご利用中の電話サービスの以下の情報が必要になります。なお情報に誤りがある場合、工事が実施できません。

  サービス提供事業者名／電話サービス名／ご契約者名（漢字・カナ）／設置場所住所／電話番号
- 番号ポータビリティによりNTT東日本、NTT西日本の加入電話などを「ドコモ光電話」に切り替える場合、NTT東日本、NTT西日本の加入電話などを利用休止または解約いただく必要があります。
- NTT東日本、NTT西日本の加入電話/ISDN（以降「加入電話など」といいます）の休止には、別途NTT東日本、NTT西日本より利用休止工事費等を請求させていただきます。工事完了後、NTT東日本、NTT西日本から休止番号を記載した休止票を送付します。利用休止から 5 年間を経過し、更にその後5年間（累計10年間）を経過してもお客さまからNTT東日本、NTT西日本に利用休止の継続 または再利用のお申出がない場合には解約の扱いとなります。
- NTT東日本、NTT西日本の加入電話などの利用休止または解約に伴い、休止対象の電話番号でご利用のNTT東日本、NTT西日本にて提供するサービス（割引サービスなど）は解約となります。
- 番号ポータビリティによりNTT東日本、NTT西日本の加入電話などから「ドコモ光電話」に切り替える場合、NTT東日本、NTT西日本よりレンタルしていた電話機の継続利用はできません。NTT東日本、NTT西日本にてレンタル契約の解約手続きを行わないと、「ドコモ光電話」のお申込みが完了しない場合があります。

3 ご利用上の注意事項

- 「ドコモ光電話」を解約される場合、NTT東日本、NTT西日本の加入電話・ひかり電話・他社電話サービスなどで同一電話番号で継続利用することが可能です。
- 番号ポータビリティによりNTT東日本、NTT西日本の加入電話などから「ドコモ光電話」に切り替える際、お手続きを円滑にするために、NTT東日本、NTT西日本が保有するお客さま情報(氏名・会社名、住所、連絡先、オプションサービス等のご利用の有無 等)が、当社に対して通知される場合があります。
  なお、NTT東日本、NTT西日本から提供された契約者情報は、番号ポータビリティを伴う、「ドコモ光電話」の申込み手続きを円滑に行うためのみに利用いたします。
- 移転や、移転を伴う他社への番号ポータビリティの場合、電話番号が変わることがあります。
- 「ドコモ光電話」で利用中の電話番号を、NTT東日本、NTT西日本が提供するひかり電話オフィスタイプまたはひかり電話オフィスA(エース)に引き継ぐことはできません。

一部ご利用できないサービスがあります

- 「ドコモ光電話」はマイライン対象外です。したがって番号ポータビリティで「ドコモ光電話」をご利用されるお客さまの場合、マイライン契約は解除されます。
- 他社電話サービスにて定額料金が発生する割引サービスや、月額使用料が発生するサービスなどをご加入の場合、必要に応じてお客さまご自身でサービスの利用終了の連絡を行ってください。利用の如何に関わらず、料金が発生する場合があります。
- 「転送でんわ」は、加入電話のボイスワープと一部機能が異なります。詳しくはP.56をご覧ください。

一部ご利用できない電話機があります

- ISDN対応電話機、G4FAXなど、ご利用いただけない電話機があります(アダプタ等の追加によりご利用いただける ISDN対応電話機もございます)。

  ※G4モードなどのディジタル通信モードではご利用いただけません。

  ※スーパーG3モードの場合、通信環境によりご利用いただけない場合があります。

  ※G3モードでご利用であっても、通信相手がISDN回線をご利用の場合、通信相手側のターミナルアダプターなどの設定によっては、「ドコモ光電話」からFAX送信ができない場合があります。
- モデム通信については、お客さまの宅内環境、通信機器、回線状況により、通信品質に影響を与えることがあります。

3 ご利用上の注意事項

転用について

- 現在お客さまがご契約中のNTT東日本、NTT西日本のひかり電話から「ドコモ光電話」へ切り替えることができます。（以降、本手続を転用といいます）
- NTT東日本、NTT西日本のひかり電話から「ドコモ光電話」に転用する場合、NTT東日本、NTT西日本のひかり電話の以下の料金プラン・オプションサービス・割引サービスはドコモ光電話では継続してご利用いただけません（転用と同時に廃止になります）。また、転用前に保持していた無料通話分の残額は転用時に失効となります。

継続してご利用いただけないNTT東日本、NTT西日本のプラン等
「安心プラン＊」「もっと安心プラン＊」「FAXお知らせメール」「フリーアクセス・ひかりワイド」「特定番号通知機能（NTT西日本は「特定番号通知サービス」）」「ひかり電話＃ダイヤル」「テレビ電話チョイス定額」「同一契約者グループ内通話」「付加サービスセット割引（NTT東日本のみ）」 ＊NTT東日本、NTT西日本のひかり電話で「安心プラン」「もっと安心プラン」をご利用のお客さまが「ドコモ光電話」へ転用される場合、「ドコモ光電話（550円／月）」となります。 「基本プラン」「安心プラン」「もっと安心プラン」をご利用で、「ひかり電話エース」に相当するオプションサービスを契約している場合、「ドコモ光電話バリュー」へ変更となります。その場合、変更工事料3,300円が発生します。

- 「ドコモ光電話」で通話明細をご希望の場合、NTT東日本、NTT西日本ひかり電話ご契約時の通話明細の利用有無にかかわらず、転用する際は改めてお申込みが必要です。
- NTT東日本、NTT西日本でご契約したひかり電話オプションサービスについては、「ドコモ光電話」で提供していないサービスを除き、「ドコモ光電話」への転用時には解約することができません。また、転用と同時に「ドコモ光電話」のオプションサービスを新たにご契約することはできません。
- NTT東日本、NTT西日本のひかり電話をご契約されたまま「ドコモ光」に転用される場合、NTT東日本、NTT西日本のひかり電話は「ドコモ光電話」へ転用させていただきます。
- NTT東日本、NTT西日本からの転用の場合、現在使用されているホームゲートウェイ（ひかり電話対応端末）は原則そのままお使いいただけますが、回線品目変更と同時に転用した場合、一部機器が変更となる場合があります。

ご利用機器について

- 電話機に接続されているドアホンをご利用の場合、屋内配線工事が必要となる場合があります。設置された工事施工会社へ確認を行ってください。
- ドコモ光電話対応ルーターをVDSL機器または回線終端装置との一体型でご利用のお客さまが「ドコモ光電話」を廃止する場合、一体型機器をご利用のままドコモ光電話対応ルーター機能を自動停止させていただくか、VDSL機器または回線終端装置にお取替えさせていただきます。ドコモ光電話対応ルーター機能および無線LAN機能はご利用いただけませんので、ご了承ください。ただし、東日本エリアで1ギガ無線LAN対応ルーターをお使いのお客さまは、ルーター機能および無線LAN機能をそのままご利用いただけます。
- 転用によりNTT東日本、NTT西日本のひかり電話から「ドコモ光電話」に切り替える場合、NTT東日本、NTT西日本のひかり電話契約時の機器レンタル契約は当社に引き継がれます。
- 受話器を挙げた際の「ピーピーピーピー」という音について
  「ドコモ光」をお使いのお客さまに当社から提供する各種ルーター（以降、「ドコモ光電話対応ルーター等」といいます）のファームウェアのバージョンアップが必要なことをお知らせする通知音です。バージョンアップを行ってください。
  ※「ドコモ光電話」の発着信は通常どおりご利用いただけます。
- テレビ電話、データ接続、高音質電話のご利用には専用端末が必要です。

3 ご利用上の注意事項

- 「ドコモ光電話」は、電話機本体をドコモ光電話対応ルーター等へ直接接続するため、電話機の設置場所が変更となる場合があります。
- 「ドコモ光電話」のみ解約される場合、当社よりレンタルしている機器など各種接続機器のご返却・交換作業やインターネットの再設定が必要になる場合があります。
- ドコモ光電話対応ルーター等の接続は、当社よりお知らせする、「ドコモ光電話」の開通日以降に実施してください。
- ドコモ光電話対応ルーター等を初めて接続する場合など、電源を入れたあと、起動するまで5分程度かかることがあります。
- 単体型のドコモ光電話対応ルーターは、回線終端装置とLANケーブルで直接接続してください。ドコモ光電話対応ルーターと回線終端装置の間にハブやルーター等各種接続機器を接続すると、各種接続機器の仕様により、「ドコモ光電話」の一部機能が制限されたり、正常にご利用いただくことができない場合があります。
- 工事担当者がお伺いせずに「ドコモ光」または「ドコモ光電話」に関する工事を行い、「ドコモ光電話」または「ドコモ光電話」のオプションサービス等が利用できなくなったときは、お客さまご自身でドコモ光電話対応ルーター等の再起動を行ってください（再起動を行ってもご利用できない場合は、当社へお問い合わせください）。
- 当社よりレンタルしている機器を紛失、破損された場合、機器代金相当額を請求させていただく場合があります。
- 一部電話機、FAXなどに搭載されている「加入電話から携帯電話への通話サービスに対応した機能（携帯電話通話設定機能（0036自動ダイヤル機能）」や、NTT製以外の一部電話機・FAXなどに搭載されている「ACR機能」が動作中の場合、通話発信できなくなる場合があります。「ドコモ光電話」をご利用になる前に、機能の停止や提供会社への解約手続きを行ってください。
- 無線LANをご利用される際には、第三者による盗聴・情報の改ざん・なりすましなどを防止するために、セキュリティ機能（通信の暗号など）の設定を行ってください。

発信先が応答しない場合の自動切断について

- 「ドコモ光電話」では、発信先（相手側）が応答しない限り、約3分後に自動的に接続が切断されます。このため、発信先がフリーダイヤルで、混雑により「しばらくお待ちください」などのガイダンスが流れ、待ち合わせの状態であっても、発信から約3分後に自動的に接続が切断されます。

着信課金サービスをご利用の場合

- 着信課金サービス提供事業者において、「ドコモ光電話」が契約可能な回線として指定されていない場合があります。お客さまご自身で、必ずご契約の事業者へ、「ドコモ光電話」に変更する旨の連絡を行ってください（各事業者との解約手続きが必要となる場合があります）。

※着信課金サービスとは通話料を着信側で負担するサービスです。

ガス検針などの警報・検針サービスをご利用の場合

- ご契約の事業者（ガス会社など）により、その扱いが異なります。お客さまご自身で、必ずご契約の事業者へ、「ドコモ光電話」に変更する旨の連絡を行ってください。なお、発信者番号表示などをご利用いただくことで、「ドコモ光電話」でも同等のサービスをご利用可能な場合もございますので、ご契約の事業者へご相談ください。

3 ご利用上の注意事項

セキュリティサービスをご利用の場合

- ご契約の事業者（警備会社など）により、その扱いが異なります。お客さまご自身で、必ずご契約の事業者へ、「ドコモ光電話」に変更する旨の連絡を行ってください。

料金のお支払について

- 「ドコモ光電話」の月額使用料の課金開始日は、「ドコモ光電話」のサービス提供が可能であることを当社が確認した日とします。なお、月額使用料は課金開始日より日割りにて請求させていただきます。また、月額使用料の課金開始日以前に発生した通話料・通信料については請求させていただきます。
- 月額使用料、ユニバーサルサービス料および電話リレーサービス料は、通話料・通信料が発生していない月であっても請求させていただきます。
- お客さまからお申出いただいた日を解約日とし、月途中で解約された場合は、解約月の月額使用料、ユニバーサルサービス料および電話リレーサービス料は日割りにて請求させていただきます。なお、解約日から工事日までの間に発生した通話料・通信料についても別途請求となります。また、ご注文内容によってお申出いただいた日以降が解約日となる場合があります。
- 月額使用料、ユニバーサルサービス料および電話リレーサービス料は、ご利用いただいた月の翌月、通話料は翌々月に請求させていただきます。ただし、課金開始日が月末となる場合、月額使用料、ユニバーサルサービス料および電話リレーサービス料について、翌月以降のご利用料金と合算して請求させていただく場合があります。
- 「ドコモ光電話」のご利用料金は「ドコモ光」のご利用料金と一括して当社またはNTTファイナンスから請求いたします。
- 次の場合、「ドコモ光電話」のご利用を停止させていただく場合があります。
  - ・お支払期限を過ぎても、ご利用料金のお支払がない場合
  - ・お支払期限後にお支払いただき、当社料金担当がお支払の事実を確認できなかった場合
  - ・ご利用停止日当日（ご利用停止手続き中）にお支払いをいただいた場合
  - ・同一名義で携帯電話回線および「ドコモ光」などをご契約いただいているお客さまで、そのうち1契約でもご利用が停止になっている場合（他のご契約についてもご利用を停止する場合があります）
- 停止されている「ドコモ光電話」のご利用料金をお支払をいただいた場合、利用が再開されるまでお時間がかかる場合があります。

3 ご利用上の注意事項

料金明細送付サービスについて

- ご利用いただきました通話等につきまして、「いつ（日時）」、「どこへ（相手先）」、「どれだけ（通話・通信時間）」などの料金明細内訳を、毎月確認いただける「料金明細送付サービス」は下表のとおり提供します。
- 当サービスのご利用には、事前のお申込みが必要となります。ご希望の場合、契約者ご本人が、本人確認できる書類（運転免許証等）の原本をご持参のうえ、ドコモショップにてお申込みください。
- ペア回線がない場合、料金明細送付サービスは書面郵送のみお申込みが可能です。

請求書の提供方法	料金明細内訳書の提供方法	作成料	郵送料	確認可能時期
eビリングの場合	一括代表電話番号のMy docomoサイトに掲載*1	無料	－	利用月の翌々月10日以降
	請求書と別にご契約者住所へ送付	110円	81円	
書面郵送の場合	請求書と同封して送付	110円	無料	
	請求書と別にご契約者住所へ送付	110円	81円	

＊1　My　docomoサイトの閲覧にあたっては、一括請求代表電話番号のdアカウントが必要となります。

料金明細発行サービスについて

- 料金明細送付サービス未契約の場合でも、ご利用いただきました通話等につきまして、「いつ（日時）」、「どこへ（相手先）」、「どれだけ（通話・通信時間）」などの料金明細を、必要な月数分確認いただける「料金明細発行サービス」は下表のとおり提供します。
- 当サービスのご利用には、申込みが必要となります。ご希望の場合、契約者ご本人が、本人確認できる書類（運転免許証等）の原本をご持参のうえ、ドコモショップにてお申込みください。

提供方法	送付先	作成料	郵送料	確認可能時期
書面郵送	請求書等の送付先 またはご契約住所	110円	81円	利用月翌月10日頃以降

電話帳の掲載および番号案内について

- 電話帳の掲載、および番号案内の登録には別途お申込みが必要です。
- 転用によりNTT東日本、NTT西日本のひかり電話から「ドコモ光電話」に切り替える場合は、転用前の電話帳掲載および番号案内の内容が引き継がれます。
- すでに加入電話などで電話帳掲載および番号案内をご利用中の場合も再度お申込みが必要です。
  ※お手続きされない場合は、番号案内および電話帳掲載でご利用中の内容が削除されますのでご注意ください。なお電話帳掲載内容の削除時期は電話帳の更新時期（年に1回）となります。
- 電話帳（タウンページ※）へは原則ご希望の名称で掲載できますが、外字や公序良俗に違反する表記等、お使いいただけない場合があります。※タウンページは2026年3月31日に提供を終了いたします。
- 1つの電話番号につき、1掲載が無料です。
- 1つの電話番号につき、2つ以上の掲載をご希望の場合は、電話帳発行の都度追加分1掲載ごとに重複掲載料550円/年が必要です。電話帳発行の都度同様のお取扱いとさせていただきますので、重複掲載がご不要となる場合はNTTタウンページ※またはドコモ光サービスセンターにお申出ください。※タウンページは2026年3月31日に提供を終了いたします。

- 法人名義で「ドコモ光電話」をご利用の場合等、NTTタウンページ※よりタウンページ掲載等について、ご連絡させていただ く場合がございます。※タウンページは2026年3月31日に提供を終了いたします。

工事について

- お客さまの設備状況などにより、「ドコモ光電話」をご利用いただけない場合があります。
- お客さまのご利用場所および当社の設備状況などにより、「ドコモ光電話」のご利用開始までの期間は異なります。また、ご利用開始の予定日が変更となる場合があります。
- 「ドコモ光電話」をお申込みまたは解約される場合、機器の交換等で派遣工事が必要な場合があります。
- お客さまが転居される場合、転居先がNTT東日本、NTT西日本のひかり電話サービス未提供エリアのときは、「ドコモ光電話」を転居先で継続してご利用いただけません。また、転居先がNTT東日本、NTT西日本のひかり電話提供エリアであっても、「ドコモ光」や「ドコモ光電話」の工事が完了するまでの間は、「ドコモ光電話」はご利用いただけません。

国際通話について

- 国際電話の利用をご希望の場合は、当社にお申出いただくことで「国際電話の発信規制」を解除することも可能です。お申込みいただく場合は、お近くのドコモショップ、またはインフォメーションセンターにご連絡ください。
- 国際電話のご利用にあたっては、第三者による不正な電話利用等の被害にご注意ください。
- 国際通話等での発信者番号通知は、相手国側の中継事業者網の設備状況等により通知できない場合があります。そのため、相手側端末への表示を保証するものではございません。

発信者番号通知について

- 発信者番号通知は、電話をかける際に発信側の電話番号を受信側に通知する機能です。「ドコモ光電話」をお申込みの際に「番号通知」または「番号非通知」のどちらか一方を選択していただきます（転用時は転用前の設定を引き継ぎます）。

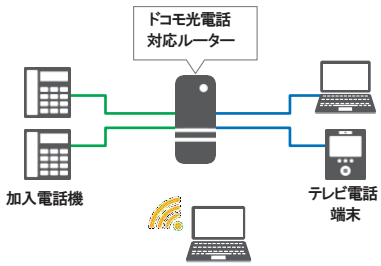
ドコモ光電話対応ルーターに接続可能な端末

ドコモ光電話のご利用には、当社がレンタルで提供する「ドコモ光電話対応ルーター」などが必要です。

■ ドコモ光電話対応ルーターに接続可能な端末台数

端末種類	利用可能端末台数
加入電話機 （G3FAX機含む）	最大2台（TELポート2つ）
有線接続IP端末 （テレビ電話端末など）	最大4台（LANポート4つ）
無線接続IP端末 （無線LANカード利用端末など）	最大5台

接続例



接続に関するご注意

- 「ドコモ光電話対応ルーター」の接続は、当社よりお知らせした、「ドコモ光電話」の開通日以降に実施してください。「ドコモ光電話」の開通日以前に接続した場合、インターネットおよび「ドコモ光電話」はご利用いただけません。
- 「ドコモ光電話対応ルーター」を初めて接続する場合など、電源を入れたあと、起動するまで5分程度かかることがあります。

■ ドコモ光電話対応ルーターの対応OS

ドコモ光電話対応ルーターは下記のOSに対応しています。

対応OS
Microsoft Windows 10、Microsoft Windows 8.1、Microsoft Windows 8、Mac OS X

※Microsoft Windows 10、Microsoft Windows 8.1、Microsoft Windows 8については、一部64bit版へ対応していない場合があります。
※一部のブラウザで特定箇所の表示がされない場合は、互換機能で表示をすることが可能となります。

ドコモ光電話対応ルーターのバージョンアップ

「ドコモ光電話対応ルーター」のファームウェア＊をバージョンアップすることで、最新の機能やサービスをご利用いただくことができます。

＊ファームウェアとは、「ドコモ光電話対応ルーター」を動作させるソフトウェアです。「ドコモ光電話対応ルーター」の機能追加や機能改善に対応するため、必要に応じ最新のファームウェアを提供します。

■ バージョンアップ方法

初期設定が自動更新となっています。最新のファームウェアが提供された場合、あらかじめ設定されている時間帯（午前1時～午前5時のいずれか）に自動的にファームウェアの更新を行います。

自動更新が『5:00』に設定されている場合は、
『5:00～5:59』の間に自動的にファームウェアの更新（再起動）を行います。

再起動中は約1分間、「ドコモ光電話」やインターネット、映像コンテンツ視聴などの各サービスがご利用いただけません。手動更新に変更したい場合、または自動更新の時間を変更したい場合は、「ドコモ光電話対応ルーター」の取扱説明書をご覧いただき、設定を変更してください。電話機から設定する場合はP.31をご覧ください。

※設定時間に通話や通信を行っている場合は、ファームウェアの更新が翌日の設定時間に延期されることがあります。

バージョンアップ中のご注意

- ファームウェアのバージョンアップ中は絶対に「ドコモ光電話対応ルーター」の電源を切らないでください。回復不能な故障の原因となります。
- ファームウェアのバージョンアップ中は、「ドコモ光電話」をご利用いただけません。

ドコモ光電話対応ルーターの再起動

「ドコモ光電話」がご利用できない場合は、「ドコモ光電話対応ルーター」の再起動を行ってください。再起動方法は下記のとおりです。

手順1

❶、❷の電源コードを一旦外したのち、❶ の電源コードを入れ直してください。

※❶、❷が一体型の場合があります。その場合、電源コードを一旦はずしたのち、「手順2」からはじめてください。

手順2

2～3分程度たったのち、❷の電源コードを入れ直してください。

※「ドコモ光電話対応ルーター」のVoIPランプまたはひかり電話ランプが緑色に点灯し、受話器をあげて「ツー」という発信音が聞こえたら、「ドコモ光電話」は利用できます。

手順3

15分以上たっても通話ができない場合は、❷ の電源コードを外し、「手順2」から繰り返してください。

※上記の手順でも「ドコモ光電話」がご利用できない場合は、当社へお問い合わせください。

ドコモ光電話対応ルーターの電話機能設定

「ドコモ光電話対応ルーター」は、以下の電話機能設定ができます。設定は対応機器のWeb設定画面（「http://192.168.1.1/」もしくは「http://ntt.setup/」）にて設定します。
なお、電話機のダイヤル操作による設定も可能です。詳細は「ドコモ光電話対応ルーター」付属の取扱説明書をご覧ください。

■ 電話機能設定の概要

設定種別	項 目	初期設定	概 要
内線設定	内線番号	TELポート1:「1」 TELポート2:「2」	「1～99」の内線番号を任意に設定することができます。
	着信音	着信音2（SIR） 「プルルップルルッ･･･」 （短い鳴動）	内線着信時の着信音を2種類から選択することができます。着信音1（IR）:「プルルルー･･」（長い鳴動） 着信音2（SIR）:「プルルップルルッ･･･」（短い鳴動） ※実際の音色は電話機によって異なります。
外線設定	通知番号	契約者回線番号	電話をかける相手に通知する番号を、契約電話番号もしくは追加する番号の中から選択することができます。
	一斉着信/ 個別着信	すべての電話番号が すべての電話機に 一斉着信	すべての電話機に一斉に着信させたり、電話番号ごとに指定した電話機に着信させたりする設定ができます。 ※着信電話番号設定をしているポートに、電話機等が接続されていない状態で、その電話番号に着信があった場合、発信側には呼出音が流れます（着信側は電話機等が接続されていないため、着信音がなりません）。
	着信音	着信音1（IR） 「プルルルー･･」 （長い鳴動）	外線着信時の着信音を2種類から選択することができます。着信音1（IR）:「プルルルー･･」（長い鳴動） 着信音2（SIR）:「プルルップルルッ･･･」（短い鳴動） ※実際の音色は電話機によって異なります。
	鳴り分け	着信音1（IR） 「プルルルー･･」 （長い鳴動）	一台の電話機で、複数の電話番号を着信させる設定にした場合、電話番号ごとに着信音を変える設定ができます。 着信音1（IR）:「プルルルー･･」（長い鳴動） 着信音2（SIR）:「プルルップルルッ･･･」（短い鳴動） ※実際の音色は電話機によって異なります。
	優先着信機能	無効	2つのTELポート（電話機）に同一の着信番号が設定されている場合、優先着信ポートを設定することにより、着信時に設定したポート（電話機）を優先的に鳴動させることができます（本機能ご利用の場合、フレッツフォン等の利用はできません）。
	指定着信機能	無効	いずれか1つのTELポートに、電話番号（契約回線番号および追加番号）の他、「指定着信番号（1～19桁の数字）」を設定することにより、ポートを限定して着信させることができます。

4 ドコモ光電話対応ルーターについて

設定種別	項 目	初期設定	概 要
付加機能設定	ナンバー・ディスプレイ	使用する	「発信者番号表示」をご契約にならない際は、設定を「使用しない」にする必要がある場合があります。
	キャッチホン・ディスプレイ	使用しない	お話し中に着信があった場合でも、かけてきた相手の電話番号を電話機等のディスプレイに表示させることができます。 ※ドコモ光電話対応ルーター「PR-200NE」「RV-230シリーズ」「RT-200シリーズ」をご利用の方は、最新のファームウェアにバージョンアップすることでご利用いただけます。
	割込音通知	使用する	「ダブルチャネル」と「通話中着信」をあわせてご契約の場合、「通話中着信」は2チャネルとも通話中の場合にのみ作動します。 1チャネルのみ通話中の場合は、本設定により、「通話中着信」サービス相当の機能がご利用になれます。 ※「ダブルチャネル」をご契約されていない場合、キャッチホン機能をご利用になるには、本設定のみではご利用いただけません。「通話中着信」のご契約が必要です。
	モデムダイヤルイン	使用しない	モデムダイヤルイン機能を使用する端末を接続する場合、設定を「使用する」に変更が必要となります。

※「ナンバー・ディスプレイ」「キャッチホン・ディスプレイ」はNTT東日本、NTT西日本が提供するサービスです。

■ 電話機のダイヤル操作による設定

受話器をあげ（またはスピーカーボタンを押し）、設定項目に応じて下記のとおりダイヤルボタンを押してください。

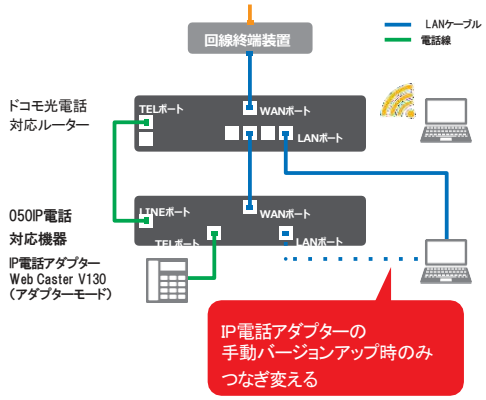
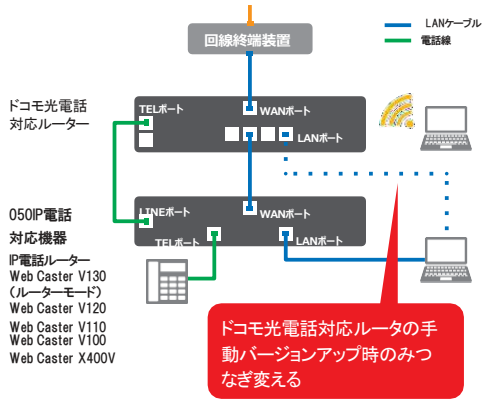
設定が終わったら、受話器をおいてください（またはスピーカーボタンを押してください）。

機 能	操作方法	初期設定
アナログポート設定		
ナンバー・ディスプレイ設定	＊＊＊99▸1または2*1▸＊▸91▸＊▸1または2*2▸##	使用する
モデムダイヤルイン設定	＊＊＊99▸1または2*1▸＊▸92▸＊▸1または2*2▸##	使用しない
割込音通知設定	＊＊＊99▸1または2*1▸＊▸93▸＊▸1または2*2▸##	使用する
着信番号設定	＊＊＊99▸1または2*1▸＊▸94▸＊▸信電話番号▸##	契約者回線番号
指定着信設定	＊＊＊99▸1または2*1▸＊▸95▸＊▸信電話番号▸＊▸指定着信番号▸##	使用しない
キャッチホン・ディスプレイ設定	＊＊＊99▸1または2*1▸＊▸96▸＊▸1または2*2▸##	使用しない
ダイヤル桁間タイマ（秒）設定	＊＊＊99▸1または2*1▸＊▸97▸＊▸4～8*3▸##	4秒
エコー・キャンセラー設定	＊＊＊99▸1または2*1▸＊▸98▸＊▸1または2*2▸##	使用する
通知番号設定	＊＊＊99▸1または2*1▸＊▸00▸＊▸相手に通知する発信者番号▸##	契約者回線番号
内線番号設定	＊＊＊99▸1または2*1▸＊▸01▸＊▸1～99*4▸##	電話機ポート1：「1」 電話機ポート2：「2」
外線着信音選択設定	＊＊＊99▸1または2*1▸＊▸02▸＊▸信電話番号▸＊▸1または2*5▸##	着信音1（IR） 「プルルルー‥」 （長い鳴動）
アナログポート無効化*6	＊＊＊90▸＊▸02▸＊▸1または2*1▸##	有効
電話設定		
優先制御設定	＊＊＊90▸＊▸00▸＊▸1～3*7▸##	無効
優先着信ポート設定	＊＊＊90▸＊▸01▸＊▸1～3*8▸##	無効
ファームウェア更新設定		
自動更新設定	＊＊＊882▸＊▸00～23*9▸##	ドコモ光電話対応ルーターの機種によって異なる
手動更新設定	＊＊＊889▸＊▸1または2*10▸##	

＊1　設定を行うTELポート番号を押します。
＊2　機能を使用する場合は「1」、使用しない場合は「2」を押します。
＊3　設定したい秒数を1桁で押します（4、5、6、7、8のみ設定可能です）。
＊4　設定したい内線番号を、「1～9」「10～99」の1～2桁で押します。
＊5　「IR」とする場合は「1」を、「SIR」とする場合は「2」を押します。
IR：「プルルルー・・」（長い鳴動）　SIR
：「プルルップルルッ・・」（短い鳴動）］
＊6　電話機を1台のみ接続する場合は、電話機を接続しないアナログポートを無効化することをお勧めします（アナログポートを無効化しない場合、接続している電話機が受話器外れ等の際、相手に呼出音が鳴り続けることがあります）。
＊7　優先制御設定を、「制御なし」に設定する場合は「1」、「優先」に設定する場合は「2」、「最優先」にする場合は「3」を押します。
＊8　優先着信ポートの設定を、電話機ポート1に設定する場合は「1」、電話機ポート2に設定する場合は「2」、「無効」にする場合は「3」を押します。
＊9　自動更新する時間帯を「00～23」の2桁で押します。（例：5時に設定する場合は「05」、21時に設定する場合は「21」を押します。）
＊10　すぐに再起動を行う場合は「1」を、再起動を行わない場合は「2」を押します。
※電話機の電話回線種別がプッシュ信号（PB）である必要があります［プッシュ信号（PB）にできない電話機からの設定はできません］。
※設定を途中で中止する場合は受話器をおきます。
※1台の電話機から設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
※ダイヤルボタンを押す間隔が30秒以上あくと、設定が中止されます。
※設定が正常に行われた場合、「設定が完了しました。」とガイダンスが流れます。
※設定が正常に行われなかった場合や、間違った番号を押した場合、「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れます。

050IP電話対応機器のご利用について

下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の制約事項があります。下記機器構成でのみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨いたしません。

接続構成	接続構成ごとの注意事項
IP電話アダプターをご利用の場合 	●「ドコモ光電話対応ルーター」のファームウェア更新種別は「自動更新」を推奨します。ファームウェア更新種別が「手動更新」となっている場合には、「ドコモ光電話対応ルーター」の「バージョンアップお知らせ機能」*の通知音を聞くことができません。ファームウェア更新有無は、お客さまの責任のもと、パソコンより随時ご確認し、バージョンアップを実施してください。なお、ファームウェアの更新がある際は、電話機にて「0000**＊1 1」をダイヤルしていただくことで、簡単にバージョンアップすることも可能です。 ＊IP電話アダプターのファームウェア更新時の「バージョンアップお知らせ機能」はご利用可能です。従って、電話機で聞こえるバージョンアップ通知音は、IP電話アダプターのファームウェアのバージョンアップお知らせとなります。なお、ファームウェアの更新がある際は、電話機にて「0000***1 1 」をダイヤルしていただくことで、簡単にバージョンアップが可能です。また、パソコンからバージョンアップをする時のみIP電話アダプターにパソコンをつなぎ変えていただく必要があります（左図参照）。
IP電話ルーターをご利用の場合 	●「ドコモ光電話」と050IP電話を同時利用する場合は、インターネット等への接続設定は、すべてIP電話ルーターで行うため、「ドコモ光電話対応ルーター」へのインターネット接続設定等はなさらないよう、お願いします。 ●本ルーター構成でご利用の場合、インターネット接続設定がないためドコモ光電話対応ルーターのLANポートに接続したパソコンからは、インターネットに接続できません。ファームウェア手動更新時を除き、パソコンはインターネット接続設定を行ったIP電話ルーターに接続してください。 ●「ドコモ光電話対応ルーター」は出荷時には「PPPoEブリッジ機能」が「有効」となっておりますので、「無効」への変更は行わないでください。 ●「ドコモ光電話対応ルーター」のファームウェア更新種別は「自動更新」を推奨します。ファームウェア更新種別が「手動更新」となっている場合には、「バージョンアップお知らせ機能」*をご利用いただくことができません。お客さまの責任のもと、「ドコモ光電話対応ルーター」に接続したパソコンからファームウェアの更新状況を確認し、更新を実施する必要があります。更新作業時のみ「ドコモ光電話対応ルーター」にパソコンをつなぎ変えていただく必要があります（左図参照）。 ＊IP電話ルーターのファームウェア更新時の「バージョンアップお知らせ機能」はご利用可能です。したがって、電話機で聞こえるバージョンアップ通知音は、IP電話ルーターのファームウェアのバージョンアップお知らせとなります。

※050IP電話で接続不可な番号（110・119等）以外は、すべて050IP電話での発信となります。「ドコモ光電話」からの発信をご希望の場合は、相手先電話番号の前に「0000」をダイヤルして発信する必要があります。050IP電話からの発信は「ドコモ光電話バリュー」の月額利用料に含まれる通話料の対象にはなりません。

【参考】ドコモ光電話で発信可能な国／地域一覧

※通話料は1分ごとの金額です。

（表示価格はすべて税抜表示です）

国／地域	国番号	通話料
ア		
アイスランド共和国	354	70円
アイルランド	353	20円
アゼルバイジャン共和国	994	70円
アセンション島＊1＊2	247	250円
アゾレス諸島	351	35円
アフガニスタン・イスラム共和国	93	160円
アメリカ合衆国（ハワイを除きます。）	1	9円
アラブ首長国連邦	971	50円
アルジェリア民主人民共和国	213	127円
アルゼンチン共和国	54	50円
アルバ	297	80円
アルバニア共和国	355	120円
アルメニア共和国	374	202円
アンギラ	1-264	80円
アンゴラ共和国	244	45円
アンティグア・バーブーダ	1-268	80円
アンドラ公国	376	41円
イエメン共和国	967	140円
イギリス（グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国）	44	20円
イスラエル国	972	30円
イタリア共和国	39	20円
イラク共和国	964	225円
イラン・イスラム共和国	98	80円
インド	91	80円
インドネシア共和国	62	45円
ウガンダ共和国	256	50円
ウクライナ＊3	380	50円
ウズベキスタン共和国	998	100円
ウルグアイ東方共和国	598	60円
英領バージン諸島	1-284	55円
エクアドル共和国	593	60円
エジプト・アラブ共和国	20	75円
エストニア共和国	372	80円
エスワティニ王国	268	45円
エチオピア連邦民主共和国	251	150円
エリトリア国	291	125円
エルサルバドル共和国	503	60円
オーストラリア連邦	61	20円
オーストリア共和国	43	30円
オマーン国	968	80円
オランダ王国	31	20円
オランダ領アンティール	599、1-721	70円
カ		
ガーナ共和国	233	70円
カーボヴェルデ共和国	238	75円
ガイアナ共和国＊1＊2	592	80円
カザフスタン共和国	7	70円
カタール国	974	112円
カナダ	1	10円
カナリア諸島	34	30円
ガボン共和国	241	70円
カメルーン共和国	237	80円
ガンビア共和国	220	115円
カンボジア王国	855	90円
ギニア共和国	224	70円
ギニアビサウ共和国＊1＊2	245	250円
キプロス共和国	357	45円
キューバ共和国	53	112円
ギリシャ共和国	30	35円
キリバス共和国	686	155円
キルギス共和国	996	140円
グアテマラ共和国	502	50円
グアドループ島	590	75円
グアム	1-671	20円
クウェート国	965	80円
クック諸島	682	155円
グリーンランド	299	91円

＊1　2019年9月2日より東日本エリアにてご利用いただけます。
＊2　2019年11月25日より準備が整い次第、順次西日本エリアにてご利用いただけます。
＊3　2022年3月1日より当面の間ご利用分は無償となります。

※国際通話料金の場合、消費税は不要です。
※国際電話を使用しない場合は「国際電話の発信規制」をかけることも可能です。詳しくは当社までお申し出ください。

【参考】ドコモ光電話で発信可能な国／地域一覧

※通話料は1分ごとの金額です。

（表示価格はすべて税抜表示です）

国／地域	国番号	通話料
クリスマス島	61	20円
グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国	44	20円
グレナダ＊1＊2	1-473	80円
クロアチア共和国	385	101円
ケイマン諸島	1-345	70円
ケニア共和国	254	75円
コートジボワール共和国	225	80円
ココス・キーリング諸島	61	20円
コスタリカ共和国	506	35円
コソボ共和国	383	120円
コモロ連合	269	80円
コロンビア共和国	57	45円
コンゴ共和国	242	150円
コンゴ民主共和国	243	75円
サ		
サイパン	1-670	30円
サウジアラビア王国	966	80円
サモア独立国	685	80円
サントメ・プリンシペ民主共和国	239	200円
ザンビア共和国	260	70円
サンピエール島・ミクロン島	508	50円
サンマリノ共和国	378	60円
シエラレオネ共和国	232	175円
ジブチ共和国	253	125円
ジブラルタル	350	90円
ジャマイカ	1-876	75円
ジョージア	995	101円
シリア・アラブ共和国	963	110円
シンガポール共和国	65	30円
ジンバブエ共和国	263	70円
スイス連邦	41	40円
スウェーデン王国	46	20円
スーダン共和国	249	125円
スペイン	34	30円
スペイン領北アフリカ	34	30円
スリナム共和国	597	80円

国／地域	国番号	通話料
スリランカ民主社会主義共和国	94	75円
スロバキア共和国	421	45円
スロベニア共和国	386	100円
赤道ギニア共和国	240	120円
セネガル共和国	221	125円
セルビア共和国	381	120円
セントクリストファー・ネイビス連邦＊1＊2	1-869	79円
セントビンセント及びグレナディーン諸島	1-784	80円
セントヘレナ＊1＊2	290	250円
セントルシア＊1＊2	1-758	80円
ソマリア連邦共和国	252	125円
ソロモン諸島	677	159円
タ		
タークス・カイコス諸島＊1＊2	1-649	80円
タイ王国	66	45円
大韓民国	82	30円
台湾	886	30円
タジキスタン共和国	992	60円
タンザニア連合共和国	255	80円
チェコ共和国	420	45円
チャド共和国	235	250円
中央アフリカ共和国＊1＊2	236	127円
中華人民共和国（香港及びマカオを除きます。）	86	30円
チュニジア共和国	216	70円
朝鮮民主主義人民共和国	850	129円
チリ共和国	56	35円
ツバル	688	120円
デンマーク王国	45	30円
ドイツ連邦共和国	49	20円
トーゴ共和国	228	110円
トケラウ諸島	690	159円
ドミニカ国＊1＊2	1-767	112円
ドミニカ共和国	1-809、1-829、1-849	35円
トリニダード・トバゴ共和国	1-868	55円

＊1　2019年9月2日より東日本エリアにてご利用いただけます。
＊2　2019年11月25日より準備が整い次第、順次西日本エリアにてご利用いただけます。

※国際通話料金の場合、消費税は不要です。
※国際電話を使用しない場合は「国際電話の発信規制」をかけることも可能です。詳しくは当社までお申し出ください。

【参考】ドコモ光電話で発信可能な国／地域一覧

※通話料は1分ごとの金額です。

（表示価格はすべて税抜表示です）

国／地域	国番号	通話料
トルクメニスタン	993	110円
トルコ共和国	90	45円
トンガ王国	676	105円
ナ		
ナイジェリア連邦共和国	234	80円
ナウル共和国	674	110円
ナミビア共和国	264	80円
ニウエ＊1＊2	683	159円
ニカラグア共和国	505	55円
ニジェール共和国	227	70円
ニューカレドニア	687	100円
ニュージーランド	64	25円
ネパール連邦民主共和国	977	106円
ノーフォーク島	672	79円
ノルウェー王国	47	20円
ハ		
バーレーン王国	973	80円
ハイチ共和国	509	75円
パキスタン・イスラム共和国	92	70円
バチカン市国	39	20円
パナマ共和国	507	55円
バヌアツ共和国	678	159円
バハマ国	1-242	35円
パプアニューギニア独立国	675	50円
バミューダ諸島	1-441	50円
パラオ共和国	680	100円
パラグアイ共和国	595	60円
バルバドス	1-246	75円
ハワイ	1	9円
ハンガリー	36	35円
バングラデシュ人民共和国	880	70円
東ティモール民主共和国	670	126円
フィジー共和国	679	50円
フィリピン共和国	63	35円
フィンランド共和国	358	30円
ブータン王国	975	70円

国／地域	国番号	通話料
プエルトリコ	1-787、1-939	40円
フェロー諸島	298	75円
フォークランド諸島	500	190円
ブラジル連邦共和国	55	30円
フランス共和国	33	20円
フランス領ギアナ	594	50円
フランス領ポリネシア	689	50円
ブルガリア共和国	359	80円
ブルキナファソ	226	80円
ブルネイ・ダルサラーム国	673	62円
ブルンジ共和国	257	70円
米領サモア	1-684	50円
米領バージン諸島	1-340	20円
ベトナム社会主義共和国	84	85円
ベナン共和国	229	80円
ベネズエラ・ボリバル共和国	58	50円
ベラルーシ共和国	375	80円
ベリーズ	501	55円
ペルー共和国	51	55円
ベルギー王国	32	20円
ポーランド共和国	48	40円
ボスニア・ヘルツェゴビナ	387	60円
ボツワナ共和国	267	75円
ボリビア多民族国	591	55円
ポルトガル共和国	351	35円
香港	852	30円
ホンジュラス共和国	504	65円
マ		
マーシャル諸島共和国	692	110円
マイヨット島	262	150円
マカオ	853	55円
マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	389	80円
マダガスカル共和国	261	160円
マディラ諸島	351	35円
マラウイ共和国	265	127円

＊1　2019年9月2日より東日本エリアにてご利用いただけます。
＊2　2019年11月25日より準備が整い次第、順次西日本エリアにてご利用いただけます。

※国際通話料金の場合、消費税は不要です。
※国際電話を使用しない場合は「国際電話の発信規制」をかけることも可能です。詳しくは当社までお申し出ください。

【参考】ドコモ光電話で発信可能な国／地域一覧

※通話料は1分ごとの金額です。

（表示価格はすべて税抜表示です）

国／地域	国番号	通話料
マリ共和国	223	55円
マルタ共和国	356	70円
マルチニーク島	596	55円
マレーシア	60	30円
ミクロネシア連邦	691	79円
南アフリカ共和国	27	75円
南スーダン共和国	211	125円
ミャンマー連邦共和国	95	90円
メキシコ合衆国	52	35円
モーリシャス共和国	230	70円
モーリタニア・イスラム共和国	222	80円
モザンビーク共和国	258	127円
モナコ公国	377	25円
モルディブ共和国	960	105円
モルドバ共和国*1*2	373	101円
モロッコ王国	212	70円
モンゴル国	976	60円
モンセラット*1*2	1-664	112円
モンテネグロ	382	120円
ヤ		
ヨルダン・ハシェミット王国	962	110円
ラ		
ラオス人民民主共和国	856	105円
ラトビア共和国	371	90円
リトアニア共和国	370	60円
リビア	218	70円
リヒテンシュタイン公国	423	30円
リベリア共和国	231	75円
ルーマニア	40	60円
ルクセンブルク大公国	352	35円
ルワンダ共和国	250	125円
レソト王国	266	70円
レバノン共和国	961	112円
レユニオン	262	70円
ロシア	7	45円

衛星電話・衛星携帯電話	国番号	通話料
インマルサットーB*3	870	307円
インマルサットーBーHSD*3	870	700円
インマルサットーM*3	870	363円
インマルサットーミニM*3／フリート／M4*3	870	209円
インマルサットーBGAN／FBB	870	209円
インマルサットーBGANーHSD／FBBーHSD	870	700円
インマルサットーエアロ	870	700円
インマルサットーM4ーHSD*3／FーHSD	870	700円
イリジウム	881-6、881-7	250円
スラーヤ	882-16	175円
トランザテル（TRANSATEL）	88247	120円

＊1　2019年9月2日より東日本エリアにてご利用いただけます。
＊2　2019年11月25日より準備が整い次第、順次西日本エリアにてご利用いただけます。
＊3　2017年1月1日より、インマルサット社のサービス終了に伴いご利用できなくなりました。

※国際通話料金の場合、消費税は不要です。
※国際電話を使用しない場合は「国際電話の発信規制」をかけることも可能です。詳しくは当社までお申し出ください。

オプションサービスの概要

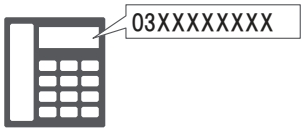
発信者番号表示のサービス概要

※「発信者番号表示」は、「ドコモ光電話バリュー」の月額使用料に含まれるオプションサービスです。

■「発信者番号表示」の機能

着信番号表示

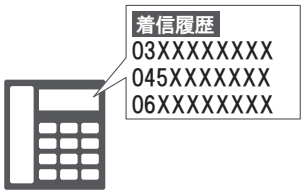
かけてきた相手の電話番号を電話機のディスプレイに表示します。また、かけてきた相手の電話番号が通知されない場合は、その理由を表示します。



着信履歴表示

留守番電話にメッセージが残っていない場合や電話に出られなかった場合でも、かけてきた相手の電話番号が記録されます。

かけ直しの操作も簡単です。



迷惑電話対応

出たくない相手の電話番号を電話機に登録しておけば、着信音を鳴らさずに専用の応答メッセージで対応することができます。

※上記の利用例は、「発信者番号表示」とナンバー・ディスプレイ対応の電話機などの機能を組み合わせることでご利用になれます。機種によっては機能の詳細に違いがあったり、ご利用になれない機能がありますので、詳しくは販売店にご確認いただくか、電話機の取扱説明書をご覧ください。

「通話中着信」を併せてご利用になる場合

ドコモ光電話対応ルーターの「キャッチホン・ディスプレイ」機能を使用することで、「通話中着信」での割り込み着信の際にも電話番号が表示可能です。「キャッチホン・ディスプレイ」機能の設定方法は P.31 をご覧ください。

※初期設定では、キャッチホン・ディスプレイ機能を「使用しない」に設定されています。
※ドコモ光電話対応ルーター「PR-200NE」「RV-230シリーズ」「RT-200シリーズ」をご利用の方は、最新のファームウェアにバージョンアップすることでご利用いただけます。
※「通話中着信」での割り込み着信時に、ご契約者と最初の通話相手の双方とも約1秒程度無音になります。
※キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要となります。

■ 他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
ナンバー・リクエスト	非通知でかかってきた場合は、着信しないため、「非通知」等の表示はされません。
通話中着信	「通話中着信」等での割り込み着信の際には、「発信者番号表示」による電話番号の表示はできません。
転送でんわ	「転送でんわ」による転送先への電話番号通知については、転送の設定状況にかかわらず発信元電話番号が表示されます。また、転送の設定状況にかかわらず、発信元（A）が「184」をダイヤルすると電話番号は通知されません。 **Bが「転送でんわ」を、Cが「発信者番号表示」を契約している場合**
迷惑電話ストップサービス	「迷惑電話リスト」に登録した電話番号からの着信には、メッセージで応答し、着信しないため電話番号などは表示はされません。
追加番号	「発信者番号表示」は、「ドコモ光電話」利用回線ごとのご契約となるため、契約番号・追加番号への着信の区別なく表示可能な電話番号を表示します。
指定着信機能＊	指定着信番号は表示されません。

＊「ドコモ光電話対応ルーター」の機能です。

ご注意ください

国内の加入電話や携帯電話から発信された場合、「0」以外から始まる番号が表示されることはありません。「0」以外から始まる番号が表示されているにもかかわらず、通話先が警察や官公庁などの公的機関を名乗るなど、あたかも国内から発信しているような内容を装っている場合には、振り込め詐欺等の可能性に十分ご注意ください。

発信者番号表示のご利用方法

■ 電話機等の確認

- 本サービスのご利用には、ナンバー・ディスプレイ対応の通信機器やアダプターの設置、およびその設定が必要となります。
- 通信機器にディスプレイがあってもナンバー・ディスプレイに対応していないと電話番号は表示されません。
- ナンバー・ディスプレイに対応した通信機器には や 、、「ナンバー・ディスプレイ対応」などと表示されています。

■ 電話機等の接続に関する注意点

- 本サービスの工事日までに現在ご利用の電話機をナンバー・ディスプレイ対応の電話機などにお取り替えのうえナンバー・ディスプレイ機能を「ON」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイ未対応の電話機でご利用される場合は、ナンバー・ディスプレイ対応のアダプターを設置してください。

※万一、本サービスに対応していない電話機を接続した場合、短い断続した呼び出し音の後、通常の呼び出し音が聞こえますので、通常の呼び出し音に変わってから電話に出るようにしてください。通常の呼び出し音に変わるまで5～6秒かかります。

※本サービスを利用している回線に本サービス対応の電話機と本サービスに対応していない自動応答端末（留守番電話機やFAXなど）を同時に接続すると、接続方法によっては番号の表示ができなかったり、途中で通話が切断される場合などがあります。

■ 電話機等の主な接続例

例1 ナンバー・ディスプレイ対応電話機を1台接続する場合

ドコモ光電話対応ルーターにナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続します。電話機にコードレス子機がセットになっている場合は、親機を接続します。

例2 加入電話機とナンバー・ディスプレイ対応アダプターを接続する場合

アダプターに添付されているコードをアダプター背面の「電話回線コード差し込み口」に接続し、もう一方をドコモ光電話対応ルーターに接続します。

加入電話機の電話機コードをアダプター背面の「電話機コード差し込み口」に接続します。

■ディスプレイ等への表示内容

かけてきた相手が電話番号を通知するか否かによって次のような内容が表示されます。

電話種別	電話回線のご利用形態	発信時の操作	表示例
ひかり電話・ 加入電話・ INSネット からの発信	通知	相手の電話番号	「0312345678」
		「186」＋相手の電話番号	
		「184」＋相手の電話番号	「非通知」、「ヒツウチ」または「P」
	非通知	相手の電話番号	
		「186」＋相手の電話番号	「0312345678」
		「184」＋相手の電話番号	「非通知」、「ヒツウチ」または「P」
公衆電話からの発信		相手の電話番号	「公衆電話」、「コウシュウデンワ」 または「C」
		「186」＋相手の電話番号	
		「184」＋相手の電話番号	「非通知」、「ヒツウチ」または「P」
国際電話などで電話番号を 通知できない通話		相手の電話番号	「表示圏外」、「ヒョウジケンガイ」 または「O」、「S」
		「186」＋相手の電話番号	
		「184」＋相手の電話番号	

※ご利用の通信機器によって表示内容が異なる場合があります。
※一部通信事業者（移動体通信事業者、IP電話事業者含む）経由の通話、一部を除く国際電話など電話番号を通知できない通話および公衆電話からの通話については電話番号は表示されず、電話番号を通知できない理由（「表示圏外」、「公衆電話」等）がディスプレイに表示されます。
※かけてきた相手の利用電話回線が「通常非通知」のご契約になっている場合や、電話番号の前に「184」をつけてかけてきた場合など、かけてきた相手の意思により電話番号を通知しない通話については電話番号は表示されず「非通知」表示となります。
※電話をかけてきた相手の方がIP電話から電話をかけてきた場合、電話番号および電話番号を表示できない理由（「非通知」、「表示圏外」等）については、各IP電話事業者により異なります。また、表示された電話番号に折り返し電話をかけてもつながらない場合があります。（接続の可否および時期については各IP電話事業者により異なります。）
※ご利用の通信機器によっては、電話番号も電話番号を表示できない理由も表示されない場合があります。

ナンバー・リクエストのサービス概要

※「ナンバー・リクエスト」は、「ドコモ光電話バリュー」の月額使用料に含まれるオプションサービスです。

■「ナンバー・リクエスト」の機能

電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に「おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直しください。」と音声メッセージで応答する機能です。この場合、着信音はなりません（かけた方には通話料金がかかります）。

※ご契約時は停止状態です。ご利用いただくためには電話機による開始の設定が必要です。

■ ご利用上の留意事項

ご利用いただくには、「発信者番号表示＊」のご契約が必要です。

＊「発信者番号表示」のご利用には、ナンバー・ディスプレイ対応電話機が必要です。
※自動車・携帯電話（一部事業者）、国際電話（一部除く）などからの電話番号を通知できない着信、公衆電話からの着信についてはナンバー・リクエストは機能せず、そのまま着信します。
※「データ接続」で着信した場合、音声メッセージでの応答はしません。

■ 他のオプションサービスと併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
通話中着信	お話し中にあとからかかってきた電話（割り込み電話）が電話番号を「通知しない」でかかってきた場合、キャッチホンは機能せず、ナンバー・リクエストのメッセージで応答します。
転送でんわ	転送でんわの転送機能を利用中に電話番号を「通知しない」でかかってきた場合、電話は転送されず、かけた人には「ナンバー・リクエスト」のメッセージで応答します。
迷惑電話ストップサービス	「迷惑電話リスト」に登録されている電話番号を「通知しない」でかけてきた電話番号の場合、「迷惑電話ストップサービス」のメッセージで応答します。
着信お知らせメール	電話をかけてきた相手が非通知により拒否された着信には、お知らせメールを送信しません。
追加番号	「ナンバー・リクエスト」は、「ドコモ光電話」利用回線ごとのご契約となるため、電話番号ごとに「ナンバー・リクエスト」のサービス開始／停止の設定をする必要はありません。

ナンバー・リクエスト開始／停止の設定操作

電話機により設定を行います。

ご契約時は停止状態です。ご利用いただくためには開始の設定が必要です。

※設定の際には、プッシュ信号を送出できる電話機が必要です。

※「ナンバー・リクエスト」の開始・停止の操作には通話料金がかかりません。

※「データ接続」で発信した場合、接続できません。

■ ナンバー・リクエストを開始する

❶ 1 4 8	受話器をあげて 1 4 8 をダイヤルします。
（ガイダンス）	『ナンバー・リクエストの設定を行います。サービスの停止は 0、サービスの開始は 1 を押してください。』 ※ガイダンスが流れる前に、0をダイヤルすると正常に動作しない場合があります。 ※ガイダンスの途中でも、ガイダンスを最後まで聞かずに 0、1 のダイヤル操作を行うことができます（スキップ機能）。
❷ 1	1 をダイヤルしてください。
（ガイダンス）	『サービスを開始します。しばらくお待ちください。』 『サービスを開始しました。』
設定完了	ここで電話を切ってください。ナンバー・リクエストが開始されます。

■ ナンバー・リクエストを停止する

❶ 1 4 8	受話器をあげて 1 4 8 をダイヤルします。
（ガイダンス）	『ナンバー・リクエストの設定を行います。サービスの停止は 0、サービスの開始は 1 を押してください。』 ※ガイダンスが流れる前に、0をダイヤルすると正常に動作しない場合があります。 ※ガイダンスの途中でも、ガイダンスを最後まで聞かずに 0、1 のダイヤル操作を行うことができます（スキップ機能）。
❷ 0	0 をダイヤルしてください。
（ガイダンス）	『サービスを停止します。しばらくお待ちください。』 『サービスを停止しました。』
設定完了	ここで電話を切ってください。ナンバー・リクエストが停止されます。

「発信者個人情報保護ガイドライン」について

郵政省（現、総務省）は、本サービスにより通知された電話番号が不当に利用されることを防止するため、平成8年11月に「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を制定しました。このガイドラインは、本サービスの事業用利用者を対象とし、番号情報の適正利用を促しています。郵政省（現、総務省）は同年　11月に関連業界に対しガイドラインの周知を行いました。当社では、発信電話番号情報を適正にご利用いただくよう、サービスをご利用いただくお客さまに対して、ガイドラインをご理解いただくよう努めるとともに、電話サービス契約約款などに盛り込みました。

「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

●発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン

1. 目的

このガイドラインは、発信電話番号等発信者に関する個人情報を通知する電気通信サービス（以下「発信者情報通知サービス」という。）の利用者を対象として、通知を受けた個人情報の取扱いに関する基本的事項を定めることにより、発信電話番号等発信者に関する個人情報及びこれに結合して保有される個人情報を保護することを目的とする。

2. 定義

1　発信者個人情報
発信者情報通知サービスにより通知される個人に関する情報であって、当該情報に含まれる電話番号、氏名、生年月日、その他の記述又は個人別に付された番号、記号その他の符号、影像又は音声により当該発信者を識別できるもの（当該情報のみでは識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、それにより当該発信者を識別できるものを含む。）をいう。

2　事業用サービス利用者
発信者情報通知サービスを利用する法人その他の団体及び自己が営む事業において発信者情報通知サービスを利用する個人をいう。ただし、国及び地方公共団体を除く。

3　記録
コンピューター等による自動処理を行うかどうかにかかわらず、通知された発信者個人情報を後に取り出すことができる状態で保存することをいう。ただし、発信者に対して折り返し通信を行う目的で一時的に発信者個人情報を保存する場合を除く。

3. 発信者個人情報の記録の制限等

1　事業用サービス利用者は、発信者個人情報を記録する場合には、記録目的を明確にし、その目的の達成に必要な範囲内で行わなければならない。

2　事業用サービス利用者は、発信者個人情報の記録を行う場合、情報主体に対し、発信者個人情報を記録すること及び記録目的を告げなければならない。ただし、情報主体が既にこれを知っている場合はこの限りではない。

（3）事業用サービス利用者は、コンピューター等による自動処理により発信者個人情報の記録を行う電話番号について、誰もが知り得る簡便でわかりやすい方法で周知しなければならない。

4. 発信者個人情報の利用の制限

事業用サービス利用者は、記録目的の範囲を超えて、発信者個人情報を利用してはならない。

5. 発信者個人情報の提供の制限

事業用サービス利用者は、発信者個人情報を外部へ提供してはならない。ただし、次のいずれかに該当する場合には、記録目的にかかわらず、当該個人情報を外部へ提供することができる。

1　発信者が外部への提供について同意した場合

2　法令の規定により提供が求められた場合

6. 不当な差別的取扱いの制限

事業用サービス利用者は、発信者情報通知サービスの利用に際し、不当な差別的取扱いを行ってはならない。

7. 発信者個人情報の適正管理

1　事業用サービス利用者は、記録目的に応じて発信者個人情報の正確性を保つよう努めなければならない。

2　事業用サービス利用者は、発信者個人情報への不当なアクセス、その紛失、破壊、改ざん、漏洩等に対して適切な保護措置を講じなければならない。

3　事業用サービス利用者は、発信者個人情報の処理を外部に委託する場合には、契約等の法律行為に基づき、当該発信者個人情報に関する秘密の保持等に関する事項を明確にし、個人情報の保護に十分配慮しなければならない。

8. 事業用サービス利用者の発信者個人情報の開示及び訂正・削除

1　事業用サービス利用者は、情報主体から自己に関する発信者個人情報の開示の請求があった場合、本人であることを確認した上でこれに応じなければならない。

2　事業用サービス利用者は、発信者個人情報に誤りがあって、情報主体から訂正・削除を求められた場合、正当な理由なく、その請求を拒んではならない。

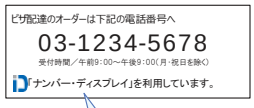
3　事業用サービス利用者は、発信者個人情報の誤りを訂正・削除するまでは、その情報を利用してはならない。

サービス利用マーク

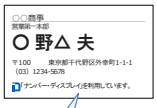
●「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」は、「発信者個人情報の記録を行う電話番号について、だれもが知り得るよう周知すること」と定めています。

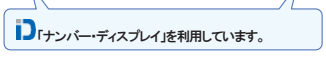
●サービス利用者は注文受付などにサービスを利用していることを一般のお客さまにお知らせする際に「サービス利用マーク」をご利用ください。

広告使用例



名刺使用例





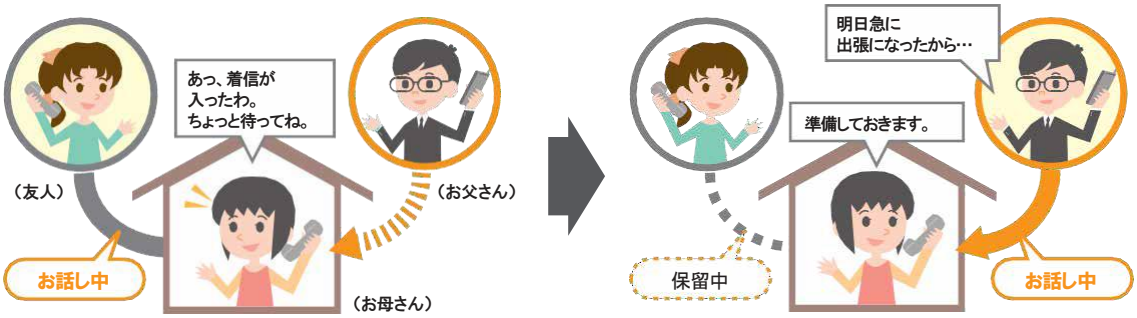
通話中着信のサービス概要

※「通話中着信」は、「ドコモ光電話バリュー」の月額使用料に含まれるオプションサービスです。

■「通話中着信」の機能

お話し中に他から電話がかかってきた場合、フックボタン＊を押すだけで、通話相手を保留し、後からかけてきた方とお話しいただけます。

＊電話機の種類によっては、フックボタンを「フラッシュ」「 ⊘ 」等と表示している場合があります。
※お待ちいただいている方には保留音が流れます。フックボタンを押すことにより、お話し相手を切り替えることができます。



7 通話中着信

■ご利用上の留意事項

- お話し中に、後からかかってきた電話に応答するため、通話相手の方にお待ちいただいている間の通話料は、
  ・「通話中着信」ご契約者からかけた電話の場合、「通話中着信」ご契約者のご負担になります。
  ・「通話中着信」ご契約者にかかってきた電話の場合、電話をかけてきた方のご負担になります。
- フックスイッチまたはフックボタンを長く押しますと、電話が切れてしまうことがあります。
- お話し中に他からかけてこられた方には、呼出し音が聞こえます。なるべく早く応答してください。
- 次のようなときは、他から電話がかかってきても信号が入らないことがあります。
  ・受話器をとってダイヤルする前の発信音が聞こえているとき。
  ・ダイヤル中のとき。
  ・相手の方のダイヤルを回し終わって、呼出し音が鳴っているとき。
  ・110番や119番等との通話中のとき。
- 「通話中着信」を一時的に停止することはできません。停止する場合は、ご契約を廃止する必要があります。再度「通話中着信」をご利用する場合は、お申し込みと工事費が必要です。
  ただし、「ドコモ光電話バリュー」に含まれる「通話中着信」機能を停止されたい場合については、当社へご連絡いただくことで停止することが可能です。

● テレビ電話ご利用上の留意事項

- 通話または通信中に、「通話中着信」によるテレビ電話を受けることはできません。音声通話となります。

● 高音質電話ご利用上の留意事項

- 通話または通信中に、「通話中着信」による高音質電話を受けることはできません。標準音声での通話となります。

● データ接続ご利用上の留意事項

- 通話または通信中に「データ接続」で着信した場合、「通話中着信」は作動しません。

■ 他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
発信者番号表示	●割り込み着信に対する電話番号は表示されません。 ●ドコモ光電話対応ルーターの「キャッチホン・ディスプレイ」機能を使用することで、「通話中着信」等での割り込み着信の際にも、「発信者番号表示」による電話番号を表示します。 ※初期設定では、キャッチホン・ディスプレイを「使用しない」に設定されています。 ※キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要となります。 ※ドコモ光電話対応ルーター「PR-200NE」「RV-230シリーズ」「RT-200シリーズ」をご利用の方は、最新のファームウェアにバージョンアップすることでご利用いただけます。
ナンバー・リクエスト	お話し中にあとからかかってきた電話（割り込み電話）が電話番号を『通知しない』でかかってきた場合、「通話中着信」は機能せず、「ナンバー・リクエスト」のメッセージで応答します。
転送でんわ	● 無条件転送設定時 「通話中着信」は作動しません。 「転送でんわ」契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：転送先へ転送中 2コール目：発信者に話中音を返します。 ● 無応答時転送設定時 設定された呼び出し秒数以内にフッキング操作を行えば割り込み可能です。 「転送でんわ」契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：通話中 2コール目：割り込み音が入ります。 ● 話中時転送設定時 「通話中着信」は作動しません。 「転送でんわ」契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：通話中 2コール目：転送先へ転送します。 ●ご利用にあたっての設定中（例えば、転送先電話番号の登録中など）には、「通話中着信」等は作動せず割り込み音は鳴りません。
迷惑電話ストップサービス	●「迷惑電話リスト」に登録された相手による割り込み時は「迷惑電話拒否」が優先されます。 ●「迷惑電話リスト」に登録する場合、「通話中着信」により応答した通話相手（第三者）が登録対象となり、最初の通話相手は登録できません。
着信お知らせメール	「通話中着信」により切り替えて通話した場合も、切り替えず通話しなかった場合も、どちらもお知らせメールを送信します。
ダブルチャネル	2チャネルとも通話中のときに「通話中着信」が作動します。 1チャネルのみ通話中の場合は「通話中着信」は作動しません。ただし、ドコモ光電話対応ルーターの割込音通知設定をすることにより、「通話中着信」相当の機能がご利用になれます。
指定着信機能	指定着信番号へ着信した場合は、「通話中着信」はご利用できません。

通話中着信のご利用方法

ご利用前に、電話機等へ特別な設定は不要です。

通話中に、他から電話がかかってくると

通話中の受話器から「ツー…、ププッ、ププッ…」という割込音が聞こえます。
（後からかけてきた方には、通常の呼出し音「プルルル…」が聞こえています。）

お話し中の相手にお待ちいただき、後からかかってきた電話に応答したい場合

フックスイッチ

または

フックボタン

❶お話し中の相手にそのままお待ちいただく了解を得て

❷フックスイッチ（受話器を置くところ）またはフックボタンを1回押します。
※電話機によっては、フックボタンを「フラッシュ」「 ⎍ 」等と表示している場合があります。

❸後からかかってきた電話に応答できます。
（お待ちいただいている方には保留音のメロディ等が流れます。）

❹後からかかってきた方とのお話しが終わりましたら、フックスイッチまたはフックボタンをもう一回押します。

❺最初にお話しの方との通話に戻ります。

※最初にお話しの相手にお待ちいただいている間も、電話をかけた方に通話料がかかります。

お話し中の通話を終了し、後からかかってきた電話に応答したい場合

❶お話し中の通話を終えて、受話器を置くとすぐにお客さまの電話のベルが鳴ります。

❷受話器をとると、かかってきた電話に応答できます。

※電話のベルを確認せずフックスイッチまたはフックボタンで通話相手を切替えますと、「通話中着信」機能がはたらき最初にお話しした相手の方が受話器をおくまで、最初の通話が保留され通話料がかかります。

転送でんわのサービス概要

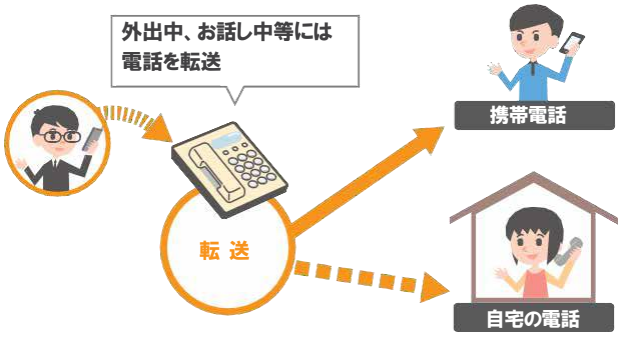
※「転送でんわ」は、「ドコモ光電話バリュー」の月額使用料に含まれるオプションサービスです。

■「転送でんわ」の機能

自宅や事務所にかかってきた電話をあらかじめ指定した電話番号へ転送できるサービスです。

楽しい会話やビジネスチャンスを逃しません。

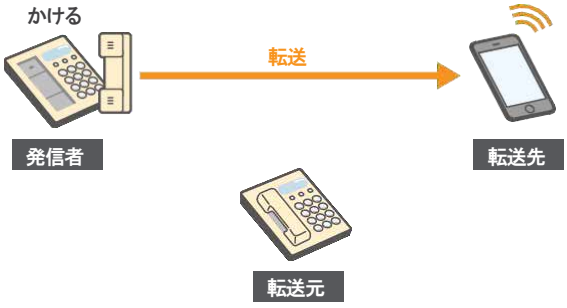
※「ドコモ光電話」ご契約電話番号および追加番号ごとのご契約・設定が必要です。



●転送機能

自動転送機能

かかってきた電話をすべて転送します。

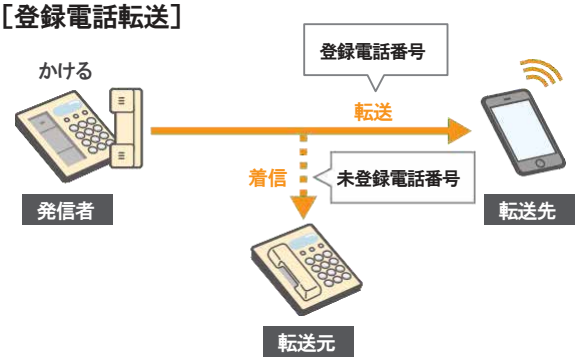


セレクト機能

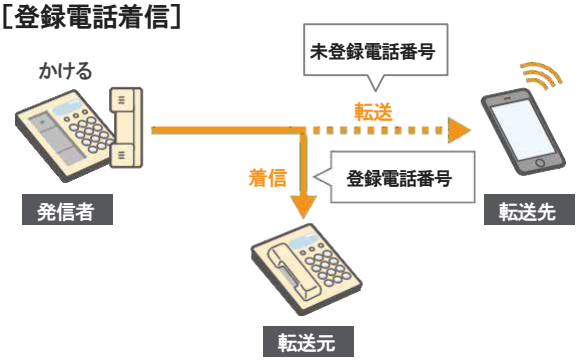
あらかじめ登録してある電話番号からかかってきた場合、登録電話番号のみを着信または転送します。

※かけてきた方の電話番号が非通知の場合、転送されません。

［登録電話転送］



［登録電話着信］



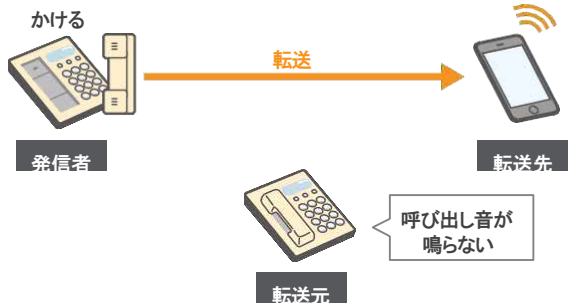
●転送方法

自動転送機能、セレクト機能それぞれで、以下の転送方法のいずれかを組み合わせてご利用いただけます。

無条件転送

呼び出し音を鳴らさずに転送

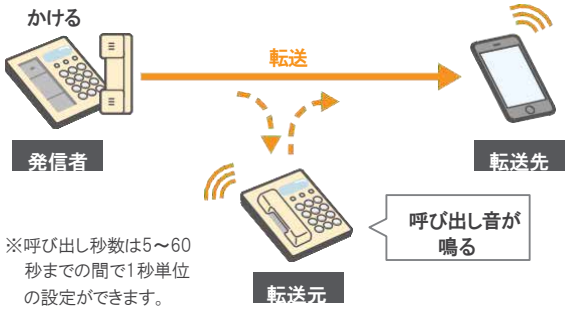
転送元の電話を鳴らさずにかかってきた電話を転送先へ直接転送します。



無応答時転送

一定時間呼び出し音を鳴らしてから転送

転送元の電話を一定時間鳴らした後に転送します。呼び出し音が鳴っている間に受話器をあげると、電話をかけてきた方とお話ができます。

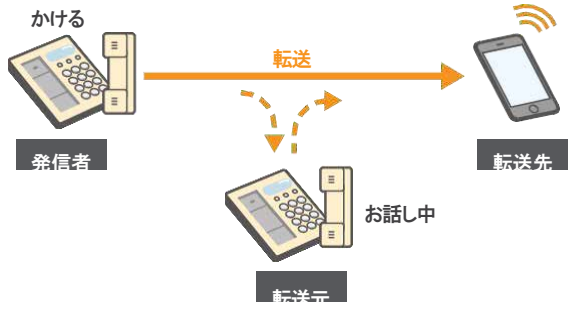


※呼び出し秒数は5～60秒までの間で1秒単位の設定ができます。

話中時転送

お話し中のときに転送

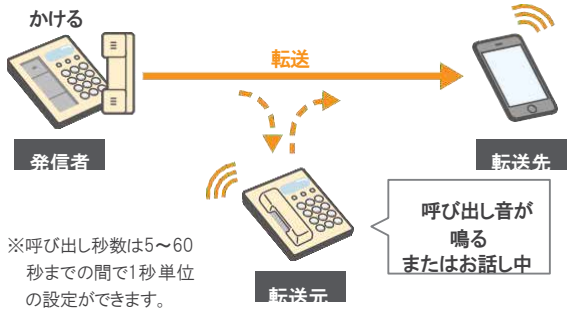
お客さまがお話し中でふさがっているときだけ、転送します。



無応答時転送＋話中時転送

一定時間呼び出し音を鳴らしてから、またはお話し中のときに転送

転送元の電話を一定時間鳴らした後、またはお話し中でふさがっているときに転送します。



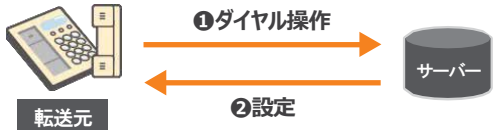
※呼び出し秒数は5～60秒までの間で1秒単位の設定ができます。

●設定操作

転送機能、転送方法は下記の操作で設定できます。

電話を利用した設定操作

転送元の電話から、
音声ガイダンスに沿ったダイヤル操作で設定が行えます。



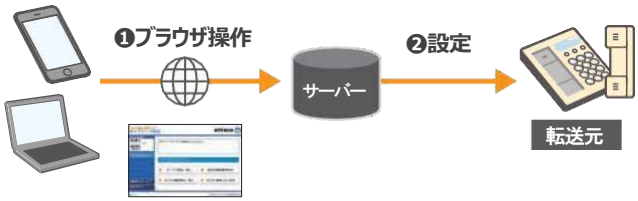
【外出先など別の電話からの操作（リモートコントロール機能）】

外出先などの別の電話（携帯電話）から、
音声ガイダンスに沿ったダイヤル操作で、
転送の開始／停止、転送先の変更の設定が行えます。

インターネットを利用した設定操作

インターネットを利用できるパソコン等から、
Webブラウザ操作で設定が行えます。

【パソコン等の場合】
ご利用のブラウザで、「TLS1.2」の使用が有効となっている必要があります。（設定内容は、Internet　Explorerの「インターネットオプション」の「詳細設定」で確認できます）



※一部のパソコン等からはご利用になれません。

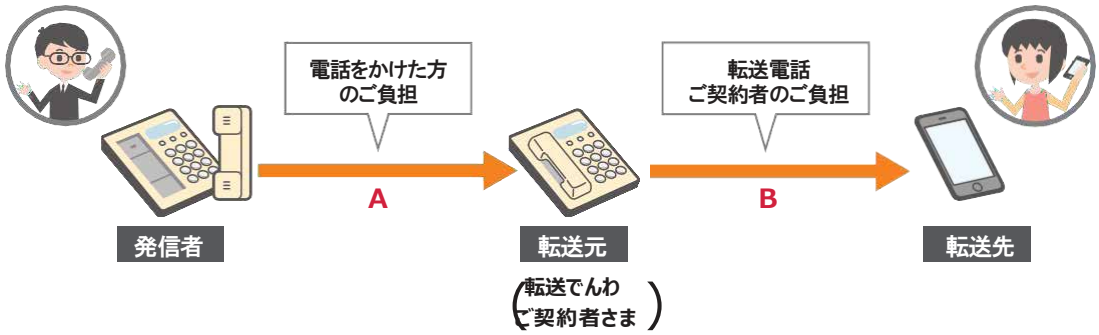
東日本エリアの方	https://www.hikari.ntt-east.net/
西日本エリアの方	https://www.hikari.ntt-west.net/

※「転送でんわ」の設定操作について、詳しくは「ドコモ光電話ご利用ガイド 転送でんわの設定操作編」をご覧ください。

※ひかり電話設定サイトについて、詳しくは「ドコモ光電話ご利用ガイド ひかり電話設定サイトの操作編」をご覧ください。

■ご利用上の留意事項

- 加入電話、INSネットのオプションサービス「ボイスワープ」と一部機能が異なります。
- 「ナンバー・リクエスト」「通話中着信」「迷惑電話ストップサービス」をご利用中は「転送でんわ」が作動しない場合があります。
- 通常の電話の場合に比べ、転送する場合には電話をかけた方から転送先につながるまでに時間がかかります。
- 「転送でんわ」ご契約者までの通話料金（A）は、発信者のご負担となります。「転送でんわ」ご契約者から転送先まで（B）は、ご契約者のご負担となります。



- 転送中も、「転送でんわ」ご契約者の電話から電話をかけることができます。
- 発信者が電話番号を通知する場合、転送元・転送先へ通知される電話番号は発信者の電話番号となります。発信者の電話番号が非通知の場合、転送元・転送先への通知は行いません。
- 「ドコモ光電話」の基本契約が一時中断の場合、「転送でんわ」は廃止となります。一時中断中の転送はいたしません。
- 転送先への転送理由の通知は行いません。
- 発信者がかけた電話が転送されている旨を発信者および転送先に通知するアナウンスはありません。
- 同時転送可能数
  同時に転送できる通話の数は、同時に利用可能な通話数となります（基本契約は通話数1、「ダブルチャネル」をご契約の場合は通話数2）＊1＊2。
  なお、基本契約の場合は2つめ、「ダブルチャネル」ご契約の場合は3つめの転送対象通話については転送されません＊3。

  ＊1　転送元が応答したか否かにかかわらず、1契約につき1つもしくは2つまでとなります。
  ＊2　転送中であっても、発信および転送対象通話以外の着信は可能です。
  ＊3　「無応答時転送」の場合は、転送元を呼び出し続けます。それ以外の転送方法の場合は、発信者に話中音を通知します。

- 最大転送回数
  転送された通話を転送先において、さらに別の転送先へ転送する場合、最大転送回数は5回までに制限されます。6回目の転送を行おうとすると、発信者に話中音を通知します。
- 転送された通話を、転送先においてさらに別の転送先に転送する場合には、通話品質は保証いたしかねます。
- 「ダブルチャネル」と「転送でんわ」を両方ご契約いただいている状態で、「転送でんわ」の転送機能をオンにしている場合、1通話目から転送機能が作動します。

● 話中時転送

話中時転送設定している電話番号を、着信電話番号として設定されているドコモ光電話対応ルーターのポートに、電話機等が接続されていない状態で、その電話番号に着信があった場合、発信側には呼出音が流れ話中とならないため、話中時転送はいたしません。

- お客さまが今お使いの電話機、FAX等の機種によっては、「転送でんわ」をご利用できない、または設定の変更等が必要となる場合があります。
- NTT東日本、NTT西日本以外の電話会社の回線を経由した通話については、登録番号転送（着信）機能が作動しない場合があります。

● 転送先規制番号

以下の転送先規制番号は「転送先リスト」に登録できません。

区分	転送先規制番号	サービス
00XY系	00XY（全事業者の番号）	事業者接続
0A0系	010	国際接続
0AB0系	0120	着信課金サービス
	0800	
	0570	特定番号着信サービス
	0170	伝言ダイヤル
	0180	テレゴング
	0990	災害募金番組
1XY系	1XY	すべて
＃ABCD	＃ABCD	すべて

※詳細は「接続できない番号について」（P.11）をご覧ください。

- 転送先からの申出があり、必要な場合には、お客さま（ご契約者）に代わって転送を停止することがあります。

■ 他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
ナンバー・リクエスト	電話番号を「通知しない」でかかってきた場合、電話は転送されず、かけた人にはナンバー・リクエストのメッセージで応答します。
通話中着信	● 無条件転送設定時 「通話中着信」は作動しません。 「転送でんわ」契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：転送先へ転送中 2コール目：発信者に話中音を返します。 ● 無応答時転送設定時 設定された呼び出し秒数以内にフッキング操作を行えば割り込み可能です。 「転送でんわ」契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：通話中 2コール目：割り込み音が入ります。 ● 話中時転送設定時 「通話中着信」は作動しません。 「転送でんわ」契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：通話中 2コール目：転送先へ転送します。 ● ご利用にあたっての設定中（例えば、転送先電話番号の登録中など）には、「通話中着信」等は作動せず割り込み音は鳴りません。
迷惑電話ストップサービス	「迷惑電話リスト」に登録されている電話番号からかかってきた場合、「迷惑電話ストップサービス」が優先され、メッセージで応答するため着信・転送しません。
着信お知らせメール	転送条件にかかわらずすべてお知らせメールを送信します。ただし、転送先が話し中などで転送されなかった場合を除きます。
追加番号	「転送でんわ」を利用したい電話番号ごとにご契約と設定が必要です。
ダブルチャネル	● 無条件転送設定時 最大2コール目まで、転送されます。 ● 無応答時転送設定時 最大2コール目まで、設定された時間経過後の着信コールについて転送されます。着信時に2チャネルとも通話中であった場合は、話し中となり、転送されません。 ● 話中時転送設定時 話中時転送設定をしている電話番号に着信可能な端末が、すべて通話中の場合、最大2コール目まで転送されます。 ● 指定転送設定時 設定された転送方法（無条件転送、無応答時転送、話中時転送）の動作条件と同じです。
指定着信機能＊	指定着信番号は転送されません。

＊「ドコモ光電話対応ルーター」の機能です。

ドコモ光電話「転送でんわ」と加入電話「ボイスワープ」および「INSボイスワープ」との違い

加入電話「ボイスワープ」および「INSボイスワープ」とは以下のとおり、一部サービス内容が異なります。

内容			ドコモ光電話「転送でんわ」	加入電話 ボイスワープ	INSボイスワープ
機能	転送方法	無条件転送	あり	あり	あり
		無応答時転送	あり	あり	あり
		話中時転送	あり	なし	あり
		指定転送	あり	なし ※ボイスワープセレクトにて提供	なし ※INSボイスワープセレクトにて提供
		応答後転送	なし	あり	なし
	転送トーキ		なし	あり	あり
	転送元案内トーキ		なし	あり	あり
	転送元電話番号通知		なし	あり ※ 転送先で転送元番号受信サービスの契約、対応機器が必要	あり ※ 転送先で転送元番号受信サービスの契約、対応機器が必要
	転送先リストへの登録可能数		4件	5件	5件
	無条件転送時の「解除忘れ防止音」		なし	あり	なし
	無応答転送時の転送タイミング設定		秒数設定（5～60秒）で1秒単位に指定	呼び出し回数設定（1～9回）	秒数設定（5～60秒）で5秒単位に指定
操作	転送設定ごとの契約電話番号設定		不要	不要	不要
	転送開始ごとの転送条件設定		要	不要	要
	外出先など別の電話からの操作（リモートコントロール機能）		可 ※リモートコントロール用アクセス番号へのダイヤル	可 ※リモートコントロール用アクセス番号へのダイヤル ※加入電話・INSネット回線から「142＋7」へのダイヤル	可 ※リモートコントロール用アクセス番号へのダイヤル ※加入電話・INSネット回線から「142＋7」へのダイヤル
	インターネットによる操作		一部可	不可	不可

※NTT東日本、NTT西日本のひかり電話「ボイスワープ」とドコモ光電話「転送でんわ」は同じサービス内容です。

迷惑電話ストップサービスのサービス概要

※「迷惑電話ストップサービス」は「ドコモ光電話バリュー」の月額使用料に含まれるオプションサービスです。

■「迷惑電話ストップサービス」の機能

迷惑電話を受けた直後に電話機から簡単な登録操作を行うことで、その後同じ電話番号からかけてきた相手に対して、「この電話はお受けできません。ご了承ください。」とメッセージで応答するサービスです。　なお、「追加番号」をご契約のお客さまの場合、お申込みの際に「電話番号単位」のご契約か「契約回線単位」のご契約かのいずれかを選択できます。（下図）

※着信拒否の対象電話番号は「迷惑電話リスト」に登録されます（公衆電話も登録可能です）。1つのリストにつき最大30件まで登録できます。登録数が30件を超える登録については、確認メッセージのあと、最も古い登録内容を削除いたします。

※「迷惑電話リスト」に対する効果を確認できます。当月、前月の2か月分の着信拒否回数が確認できます。ただし、サービス利用開始月は、当月分のみの確認となります。

※一部通信事業者（移動体通信事業者、IP電話事業者含む）経由の通話、一部を除く国際通話など電話番号を通知できない通話については、登録および着信拒否できません。

※メッセージ応答した通話については、発信者に課金されます。

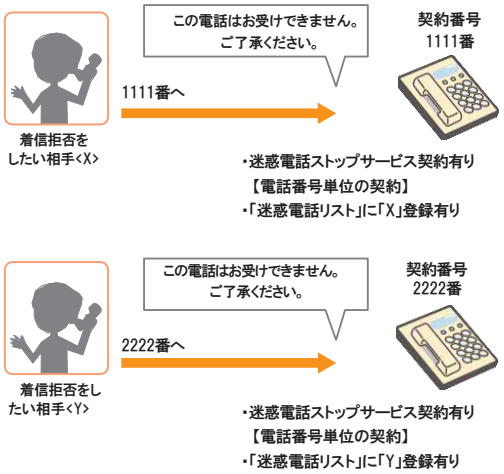
※当社は、本サービスのメッセージ応答に伴い発生する損害等については、責任を負いません。

※電話をかけてきた相手側が、フリーダイヤル番号「0120」など、契約の電話番号とは異なる番号を通知している場合は、着信拒否できないことがあります。

●契約単位

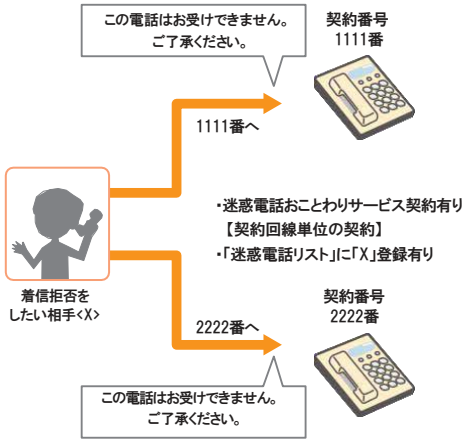
ご利用の電話番号単位でのご契約（サービス契約電話番号のみ着信拒否が可能）

1111番、2222番それぞれで、ストップ機能（着信拒否）を利用したい相手の電話番号が異なる場合は、迷惑電話ストップサービスを電話番号単位で契約し、それぞれの「迷惑電話リスト」に＜X＞、＜Y＞を登録すれば、ストップ機能（着信拒否）が利用可能です。



契約回線単位でのご契約（ご利用の全電話番号で着信拒否が可能）

1111番、2222番とも、ストップ機能（着信拒否）を利用したい相手の電話番号が共通である場合は、迷惑電話ストップサービスを契約回線単位で契約し、「迷惑電話リスト」に＜X＞を登録すればストップ機能（着信拒否）が利用可能です。



※電話番号単位に「迷惑電話ストップサービス」をご契約中のお客さまが、契約回線単位でのご契約に変更される場合、「迷惑電話リスト」の内容は引き継がれません（契約回線単位から電話番号単位のご契約に変更される場合も同様です）。

※電話番号単位に「迷惑電話ストップサービス」をご契約中のお客さまが、契約回線単位でのご契約に変更される場合、別途工事費3,300円がかかります（契約回線単位から電話番号単位のご契約に変更される場合も契約される電話番号数に応じた工事費がかかります）。

9 迷惑電話ストップサービス

docomo

■ ご利用上の留意事項

●登録した相手の電話番号はわかりません。

●登録した相手が電話をかけてきたときには、相手側に次のメッセージが流れます（2回繰り返したあとに切れます）。

この電話はお受けできません。ご了承ください。

※このとき、お客さまの電話のベルは鳴りません。また、お客さまの電話の発信や着信は通常どおり可能です。

●「迷惑電話リスト」に登録された電話番号から「データ接続」で着信した場合、着信は拒否されますが、音声メッセージでの応答はしません。

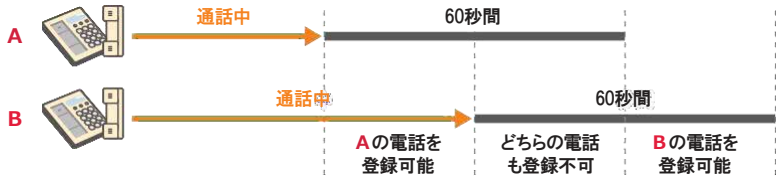
■ 他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項

<table>
<tr><th>サービス名等</th><th>留意事項</th></tr>
<tr><td>発信者番号表示</td><td rowspan="3">「迷惑電話ストップサービス」で登録された内容が優先されます。</td></tr>
<tr><td>ナンバー・リクエスト</td></tr>
<tr><td>転送でんわ</td></tr>
<tr><td>通話中着信</td><td>
登録対象となる電話を間違えないよう下記の事項にご注意願います。
●お話し中にあとからかかってきた電話に応答した場合は、それ以降、切り替えた電話が登録の対象となります。

＊あとからかかってきた電話とお話しが済んで、最初の電話の方とお話ししても、登録の対象となる電話はあとからかかってきた電話となりますのでご注意ください。
※「通話中着信」と「ダブルチャネル」を同時契約した場合、「ダブルチャネル」の登録動作が優先されます。
[ケース1]迷惑電話に応対中に、他から電話がかかってきた場合

登録操作 A（契約者）がB（迷惑電話発信者）からの電話応対中に「通話中着信」の信号音が入った場合、「通話中着信」の切り替え操作をせずに電話を切り、呼び出し音が鳴らなくなってから、登録操作を行ってください。
※なお、「通話中着信」で切り替えてしまうと、切り替えたCの電話が登録の対象となってしまいますので、ご注意ください。
[ケース2]お話し中に他からかかってきた電話に応答したところ、それが迷惑電話だった場合

登録操作 A（契約者）がB（普通の電話）とお話し中に「通話中着信」で切り替えた電話がC（迷惑電話発信者）からの電話であった場合、最初の方とのお話しが済んだあとに、いったん受話器をおろして登録操作を行ってください。
</td></tr>
</table>

着信お知らせメール	「迷惑電話リスト」に登録された電話番号からの着信には、お知らせメールを送信しません。
ダブルチャネル	●登録対象となる電話は最後に切った電話となります。 ●登録可能な時間は、電話を切った後60秒以内に限られます。 ●登録可能な電話が複数ある場合、どちらも登録できません。 
追加番号	●「迷惑電話ストップサービス」をご契約いただいた電話番号を発信電話番号として設定している電話機から登録してください。 他の電話番号を発信電話番号として設定している電話機から操作した場合、登録を行えません。 ●「迷惑電話ストップサービス」を複数ご契約いただいている場合は、ご契約いただいた番号ごとの登録となります。

迷惑電話ストップサービスの設定操作

電話機により、以下の設定・確認が可能です。

- 着信を拒否したい相手の登録
- 「迷惑電話リスト」に登録された最も新しい情報の削除
- 「迷惑電話リスト」に登録されたすべての情報の削除
- 「迷惑電話リスト」における効果の確認

※設定の際にはプッシュ信号を送出できる電話機が必要です。また、プッシュ信号の送出にあたり電話機の設定が必要な場合がありますので、詳細は電話機の取扱説明書などをご覧ください。

※「データ接続」で発信した場合、接続できません。

■ 着信を拒否したい相手の登録方法

迷惑電話を受けた直後に、以下のダイヤル操作をしてください。

迷惑電話を受けたあと、いったん電話を切ります。続いて次の操作をしてください。	
❶ 144	受話器をあげて144をダイヤルします。
（ガイダンス）	『迷惑電話おことわりサービスの設定を行います。迷惑電話リストへの登録は 2 、最新登録番号の削除は 3 、登録番号一括削除は 9 、効果の確認をするときは 4 を押してください。』
❷ 2	ガイダンスに従って 2 をダイヤルしてください。
（ガイダンス）	『迷惑電話リストの登録を完了しました。』
登録完了	ここで電話を切ってください。登録操作は完了です。

※電話番号単位のご契約の場合は、「迷惑電話ストップサービス」をご契約いただいている電話番号を発信電話番号として設定している電話機から登録してください。

■ 最新登録電話番号解除方法

最も新しい登録電話番号を解除します。

❶ 144	受話器をあげて144をダイヤルします。
（ガイダンス）	『迷惑電話おことわりサービスの設定を行います。迷惑電話リストへの登録は 2 、最新登録番号の削除は 3 、登録番号一括削除は 9 、効果の確認をするときは 4 を押してください。』
❷ 3	ガイダンスに従って 3 をダイヤルしてください。
（ガイダンス）	『最新登録番号の削除が完了しました。』
解除完了	ここで電話を切ってください。解除操作は完了です。

※同じ操作を繰り返すことにより、新しい登録電話番号から順番に1つずつ解除することができます。
※解除完了のガイダンスは、必ず確認してください。
※いつでも解除できます。

9 迷惑電話ストップサービス

■ 一括解除方法

登録されているすべての電話番号を解除します。

❶ 144	受話器をあげて144をダイヤルします。
（ガイダンス）	『迷惑電話おことわりサービスの設定を行います。迷惑電話リストへの登録は 2、最新登録番号の削除は 3、登録番号一括削除は 9、効果の確認をするときは 4を押してください。』
❷ 9	ガイダンスに従って 9をダイヤルしてください。
（ガイダンス）	『登録電話番号の一括削除が完了しました。』
解除完了	ここで電話を切ってください。一括解除操作は完了です。

※この操作を行う場合は登録されている電話番号のすべてが解除されますのでご注意ください。
※解除完了のガイダンスは、必ず確認してください。
※いつでも解除できます。

■ 効果確認方法

着信拒否回数の確認ができます。

❶ 144	受話器をあげて144をダイヤルします。
（ガイダンス）	『迷惑電話おことわりサービスの設定を行います。迷惑電話リストへの登録は 2、最新登録番号の削除は 3、登録番号一括削除は 9、効果の確認をするときは 4を押してください。』
❷ 4	ガイダンスに従って 4をダイヤルしてください。
（ガイダンス）	『今月メッセージ応答した回数は〇〇回＊です。前月メッセージ応答した回数は〇〇回です。』

＊着信拒否回数が100回以上の場合、一律「100回以上」とアナウンスします。
迷惑電話リストに対する2か月分（今月分と前月分）の着信拒否回数の確認ができます。
今月分：今月1日0時から、効果測定した時間までの着信拒否回数
前月分：前月1日0時から、末日の0時までの着信拒否回数

ガイダンスの内容

「迷惑電話ストップサービス」の設定操作中には次のガイダンスが流れます。

項目		ガイダンス内容	案内回数
144 ダイヤル後		迷惑電話おことわりサービスの設定を行います。迷惑電話リストへの登録は 、最新登録番号の削除は 、登録番号一括削除は 、効果の確認をするときは を押してください。	1回
登録時	登録完了確認	迷惑電話リストの登録が完了しました。	
	登録できないとき	迷惑電話リストの登録に失敗しました。	
	登録限度数を超えて更に登録操作を行った場合	登録件数が30件を超えますので最も古い電話番号を削除します。よろしければ 0 、そうでなければ 0 以外を押してください。	
解除時	一括解除確認	登録電話番号の一括削除が完了しました。	
	最新登録電話番号解除確認	最新登録番号の削除が完了しました。	
効果確認	効果確認	今月メッセージで応答した回数は〇〇回です。前月メッセージ応答した回数は〇〇回です。	
	効果確認できないとき	効果確認できませんでした。	

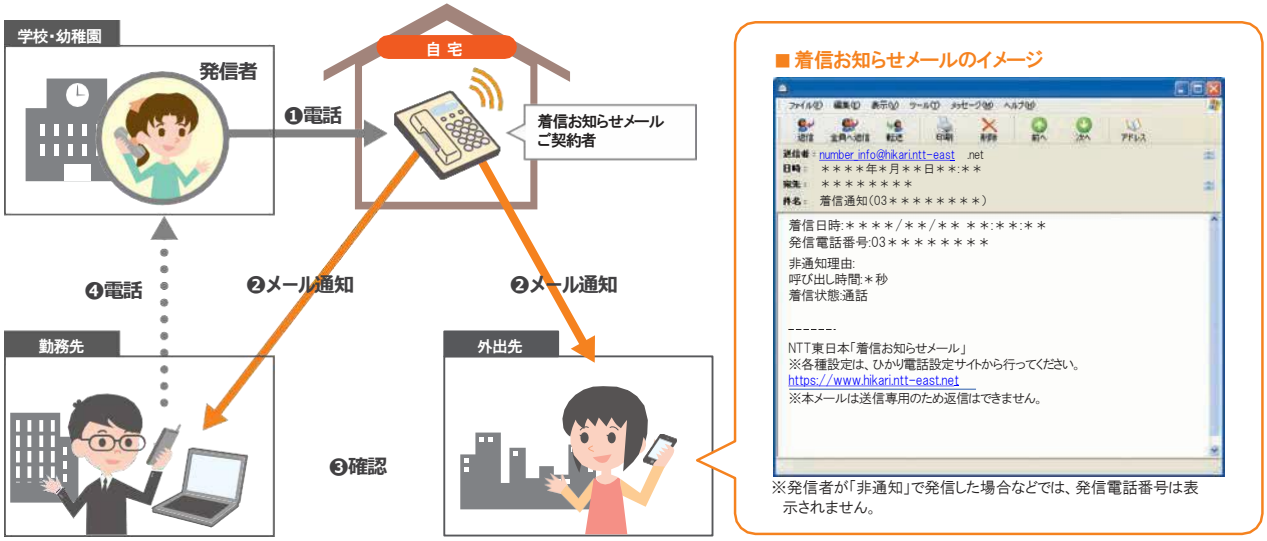
着信お知らせメールのサービス概要

※「着信お知らせメール」は、「ドコモ光電話バリュー」の月額使用料に含まれるオプションサービスです。

■「着信お知らせメール」の機能

自宅や会社の「ドコモ光電話」ご契約回線に電話があったことを、任意のパソコンや携帯電話のメールアドレスへの通知します。仕事中や買い物中であっても、学校からなど大事な電話があったことをメールで確認することができます。

- 着信情報をお知らせするメールアドレスは最大5件まで設定可能です。
- あらかじめ登録した電話番号からかかってきた場合のみ、着信情報をお知らせすることも可能です。登録可能な電話番号は最大30件です。
- 電話に出られなかった着信のみ、お知らせすることも可能です。



※発信者が「非通知」で発信した場合などでは、発信電話番号は表示されません。

■ 他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
ナンバー・リクエスト	電話をかけてきた相手が非通知により拒否された着信には、お知らせメールを送信しません。
通話中着信	「通話中着信」により切り替えて通話した場合も、切り替えず通話しなかった場合も、どちらもお知らせメールを送信します。
転送でんわ	転送条件にかかわらずすべてお知らせメールを送信します。ただし、転送先が話し中などで転送されなかった場合は除きます。
迷惑電話ストップサービス	「迷惑電話リスト」に登録された電話番号からの着信には、お知らせメールを送信しません。

着信お知らせメールの設定操作

パソコン等からひかり電話設定サイトへ接続し、以下の設定を行ってください。

［ひかり電話設定サイト］

東日本エリアの方	https://www.hikari.ntt-east.net/
西日本エリアの方	https://www.hikari.ntt-west.net/

※ひかり電話設定サイトについて、詳しくは「ドコモ光電話ご利用ガイド ひかり電話設定サイトの操作編」をご覧ください。

■ 着信お知らせメールサービスメニューへ接続

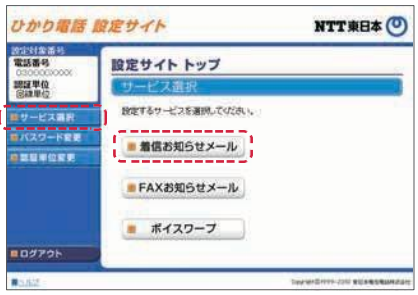
● サービスメニューへの接続方法

❶ 「着信お知らせメール」をクリックします。

パソコン

ひかり電話設定サイトトップより「サービス選択」「着信お知らせメール」をクリックします。

※「ボイスワープ（転送でんわ）」「着信お知らせメール」のうち、ご利用中のサービスがすべて表示されます。



認証単位によっては以下の画面が表示されます。

❷ 設定する電話番号をクリックします。

表示された電話番号から設定したい電話番号をクリックします。

※この画面は以下の場合に表示されます。

- 認証単位が「回線単位」で、同一契約者回線内で1つ以上の追加番号を契約されている場合。
- 認証単位が「管理者／ユーザ単位」で、同一契約者回線内で1つ以上の追加番号を契約されており、かつ契約者回線番号でログインした場合。

❸ サービス設定を行います。

「着信お知らせメール」のサービスメニューが表示されます。

設定したいメニューをクリックします。

10 着信お知らせメール

●着信お知らせメールのサービスメニュー

パソコン

サービス開始／停止

メール送信条件設定

送信先メールアドレス設定

お知らせ対象電話番号設定

サービスメニュー	設定内容
送信先メールアドレス設定	着信お知らせメールを送信するメールアドレスを設定します。
サービス開始／停止	サービスの開始または停止の設定を行います。
メール送信条件設定	着信お知らせメールの送信条件を設定します。
お知らせ対象電話番号設定	着信お知らせメールの送信対象とする発信元電話番号を設定します。

10 着信お知らせメール

「着信お知らせメールサービスメニュー」へ接続し、以下の設定を行ってください。

■ 送信先メールアドレス設定

着信お知らせメールの送信先メールアドレスを設定します。

送信先は5か所まで設定可能です。

❶ 送信先メールアドレスを入力します。

パソコン

❶サービスメニューの「送信先メールアドレス設定」をクリックします。

❷着信お知らせメールの送信先メールアドレスを入力します。

❸「送信テスト」ボタンをクリックし、正しくメールが届くことを確認します。

❹お知らせメールを送信したいメールアドレスの「送信」欄にチェックを入れます。

❺「設定」ボタンをクリックします。

※送信先メールアドレスとして設定できる文字は以下のとおりです。
「0～9」「a～z」「A～Z」「-@_.!$%'*+/?^#」

※以下の条件を満たす送信先メールアドレスを設定してください。
・先頭が「@」以外で始まる
・「@」は1つのみ
・末尾が「@.」以外で終わる

※送信先メールアドレスの登録を誤った場合、第三者に着信情報が通知される恐れがあります。メールアドレス登録の際、必ず「送信テスト」を行ってください。

※送信先メールアドレスの登録誤りやメールサーバーの不具合等により、お知らせメールが送信されない場合や届くまでにしばらく時間がかかる場合があります。

※お知らせメールを受信する際、ご利用の通信サービスにより、通信料、パケット通信料等がかかる場合があります。

スマートフォンでメールの受信制限をされている場合は受信できません。受信拒否設定を解除するか、「hikari.ntt-east.net」または「hikari.ntt-west.net」を受信指定ドメインとして設定してください。

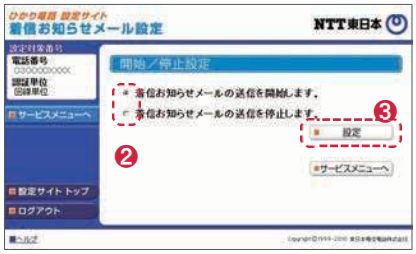
❷ 設定を確定します。

「設定」をクリックします。

10 着信お知らせメール

■ 開始／停止設定

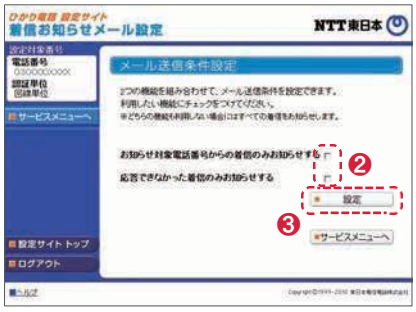
※本サービスを「開始」するには、あらかじめ「送信先メールアドレス設定」が必要です。

❶ サービスの開始または停止の設定を行います。	パソコン
❶サービスメニューの「サービス開始／停止」をクリックします。 ❷「開始」または「停止」を選択します。 ❸「設定」ボタンをクリックします。	

■ メール送信条件設定

「お知らせ対象電話番号からの着信のみお知らせする」「応答できなかった着信のみお知らせする」の2つの条件を設定できます。

※本設定は必須ではありません。

❶ メールの送信条件を設定します。	パソコン
❶サービスメニューの「メール送信条件設定」をクリックします。 ❷条件を設定する場合は、設定する条件のチェックボックスにチェックを入れます。 ❸「設定」ボタンをクリックします。	

■ お知らせ対象電話番号設定

メール送信条件設定で「お知らせ対象電話番号からの着信のみお知らせする」を指定した場合に本設定が必要です。

着信お知らせメールの送信対象とする発信元電話番号を設定します。

電話番号は30件まで設定可能です。

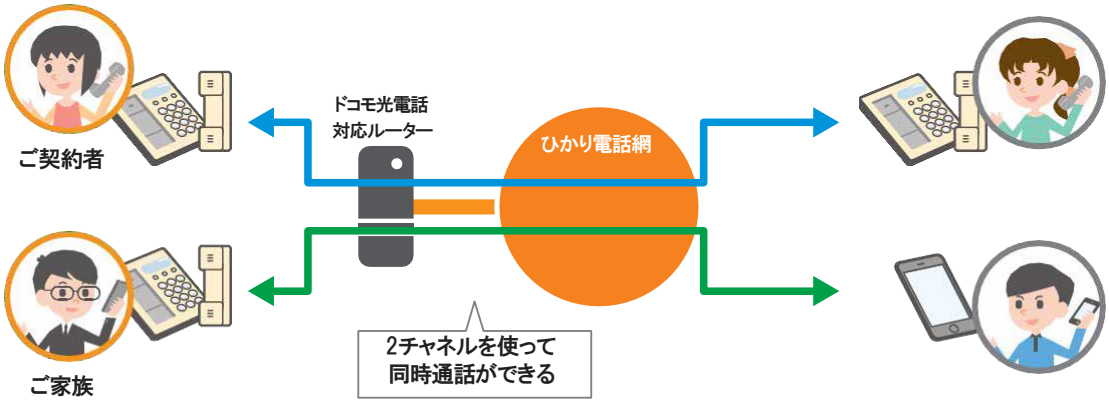
❶ お知らせ対象電話番号を設定します。	パソコン
❶サービスメニューの「お知らせ対象電話番号設定」をクリックします。 ❷発信元電話番号を指定して着信お知らせメールを送信する場合は、「発信者電話番号」欄に指定する電話番号（ハイフンなし）を入力します。 ❸「指定」欄にチェックを入れます。 ❹「設定」ボタンをクリックします。	

ダブルチャネルのサービス概要

■「ダブルチャネル」の機能

「ドコモ光電話」1契約で同時に2回線分の通話ができるサービスです。2回線分の同時通話ができるため、2世帯住宅や店舗兼住宅でのご利用が可能です。

ダブルチャネル	最大2チャネル（追加1チャネル）



■ 他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項

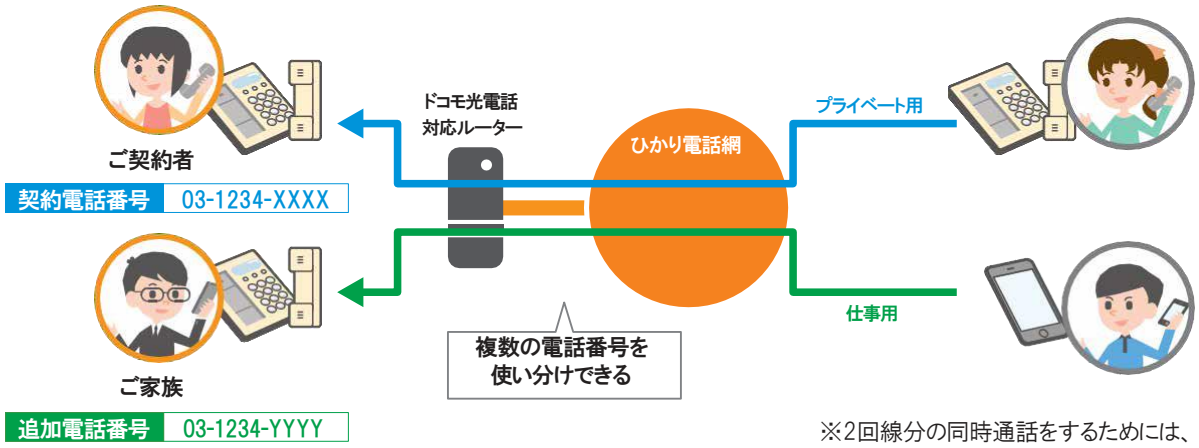
サービス名等	留意事項
通話中着信	2チャネルとも通話中のときに「通話中着信」が作動します。1チャネルのみ通話中の場合は「通話中着信」は作動しません。 ただし、ドコモ光電話対応ルーターの割込音通知設定をすることにより、「通話中着信」相当の機能がご利用になれます。
転送でんわ	●無条件転送設定時 最大2コール目まで、転送されます。 ●無応答時転送設定時 最大2コール目まで、転送タイマ満了後の着信コールについて転送されます。また、着信時に2チャネルとも通話中であった場合は、転送されず、転送元を呼び出し続けます。 ●話中時転送設定時 話中時転送設定をしている電話番号に着信可能な端末が、すべて通話中の場合、最大2コール目まで転送されます。 ●指定転送設定時 設定された転送方法（無条件転送、無応答時転送、話中時転送）の動作条件と同じです。
迷惑電話ストップサービス	●「ダブルチャネル」で同時通話をしている場合、「迷惑電話リスト」に登録される電話番号は、最後に切断された電話番号となります。 ●「迷惑電話リスト」への登録は、通話切断後60秒以内となります。

追加番号のサービス概要

■「追加番号」の機能

「ドコモ光電話」1契約で、最大5つの電話番号が利用できます。家族ひとり一人が自分の番号を持てるから、大切な人からの電話もダイレクトに受けることができます。

追加番号	最大5番号（契約電話番号＋追加4番号）



※2回線分の同時通話をするためには、「ダブルチャネル」の契約が必要です。

■ ご利用上の留意事項

「追加番号」ごとに発信電話番号の「通知」「非通知」の設定が可能です。

■ 他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項

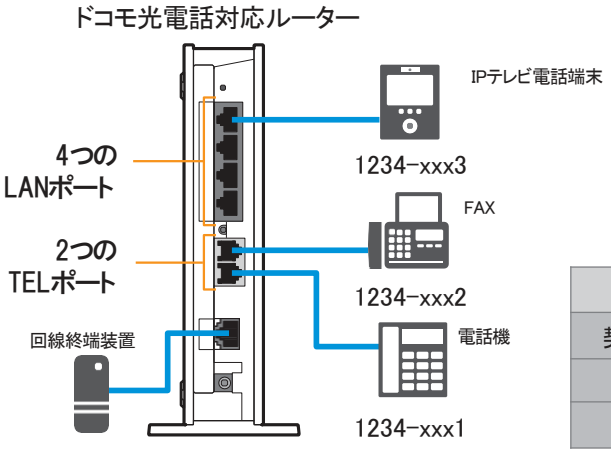
サービス名等	留意事項
転送でんわ	「転送でんわ」を利用したい電話番号ごとにご契約と設定が必要です。
迷惑電話ストップサービス	電話番号ごとのご契約と設定が必要です。

追加番号のご利用方法

「追加番号」をご利用の場合、ドコモ光電話対応ルーターに設定が必要となる場合があります。

- 設定はパソコンにより「設定Web画面」上で行います。
- ドコモ光電話ルーターに接続した電話機のポートごとに「追加番号」の設定（発信電話番号／着信電話番号等）を行います。

接続例



電話番号		通信機器
契約電話番号	03-1234-xxx1	電話機
追加番号	03-1234-xxx2	FAX
追加番号	03-1234-xxx3	IPテレビ電話端末

設定例

	TELポート1	TELポート2	IP端末1	IP端末2
内線番号	1	2	3	4
着信電話番号	03-1234-xxx1	03-1234-xxx1 03-1234-xxx2	03-1234-xxx3	03-1234-xxx4
発信電話番号	03-1234-xxx1	03-1234-xxx2	03-1234-xxx3	03-1234-xxx4

※1つの接続ポートに発信電話番号として設定できる電話番号は1つです。

■追加番号に関する設定方法

以下の❶～❹に従って、設定を行ってください。

※設定画面は、お客さまがご利用されている機器の種類によって一部異なる場合があります。詳しくは以下NTT東日本・NTT西日本のホームページをご確認ください。

NTT東日本 https://web116.jp/ced/personal/hgw/ （2025年7月時点）

NTT西日本 https://www.ntt-west.co.jp/kiki/download/flets/index.html （2025年7月時点）

❶ ドコモ光電話対応ルーターの設定画面へアクセスします。

❶WEBブラウザを起動し、アドレス欄に「http://ntt.setup/」もしくはIPアドレス（工場出荷時は「http://192.168.1.1/」に設定）を入力します。

❷画面に従ってユーザ名とパスワードを入力します。

❷ 「内線設定」画面を開きます。

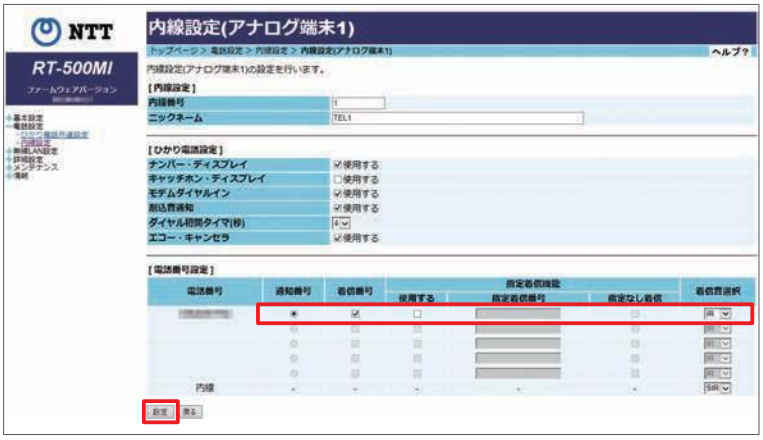
「電話設定」を開き、「内線設定」をクリックします。

❸ 設定を行いたい内線番号を選択します。

設定を行いたい内線番号の［編集］をクリックします。

❹ 設定を行います。

各設定項目を入力・選択して最後に［設定］をクリックします。



各設定項目の詳細については、下記をご覧ください。

●**電話番号**
ご契約された電話番号（外線）が表示されます。

●**通知番号**（初期値：契約者回線番号）
発信時、電話をかけた相手先に通知される発信者番号をどの番号にするか選択します。

●**着信番号**（初期値：すべての電話番号）
ご契約された電話番号（外線番号）のうち、この電話機に着信させる電話番号を設定します。着信番号は複数選択できます。

●**指定着信機能**（初期値：使用しない）
指定着信機能を利用することにより、相手の方が電話をかけるときに電話番号に続けて指定着信番号をダイヤルすることで、この電話機ポートに接続された電話機にだけに着信させることができます。

●**着信音選択**（初期値：外線用「IR」、内線用「SIR」）
電話番号ごとの着信音、内線着信時の着信音を設定できます。

■「IR」
着信音が「1秒あり＋2秒なし」を繰り返します。
（「プルルルー、プルルルー･･･」と鳴動します。）

■「SIR」
着信音が「0.3秒あり＋0.3秒なし＋0.3秒あり＋2.1秒なし」を繰り返します。
（「プルルッ、プルルッ･･･」と鳴動します。）

※実際に鳴る音は、お使いの電話機によって異なります。

テレビ電話のサービス概要

※「テレビ電話」は、ドコモ光電話の基本サービスとしてご利用になれます。

■「テレビ電話」の機能

ひかり電話および法人向けひかり電話契約者間でテレビ電話がご利用いただける機能です。
専用の電話端末のほか、現在お使いのパソコンやスマートフォン・タブレット端末などでも、高品質で滑らかな映像のテレビ電話を楽しめます。

※別途、テレビ電話対応機器が必要です。
※NTT東日本・NTT西日本が提供するひかり電話から「ドコモ光電話」に「転用」された一部のお客さまにおいては、別途お申込みが必要となる場合があります。

■ ご利用上の留意事項

- 通常の電話番号（0AB～J番号）で利用できます。
- 「テレビ電話」の契約がないひかり電話契約者とは、音声での通話のみとなります。
- 緊急通報（110/119/118）は、音声通話として発信できます。
- 通話相手によっては、標準品質のテレビ電話となる場合があります。
- IPテレビ電話端末などにテレビ電話の着信があった場合は、IPテレビ電話端末などのみ呼出音が鳴ります。他の電話機等へは着信しません。

  IPテレビ電話端末などがない場合は、呼出音が鳴らず音声通話により再接続となります。
- 音声通話で着信した場合は、IPテレビ電話端末以外の電話機とも通話できます。

■ 他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
通話中着信	●音声通話中またはテレビ電話通話中に、「通話中着信」によるテレビ電話を受けることはできません。音声通話となります。 ●IPテレビ電話端末などでテレビ電話通話中は、「通話中着信」による通話（音声通話、テレビ電話）を受けることはできません。また、割込通知音が聞こえません。
優先着信機能	LANポートにて優先着信機能は利用できません。TELポート（加入電話機等）にて優先着信機能の設定をしている場合、「テレビ電話」のご利用ができない場合があります。
指定着信機能	LANポートにて指定着信機能は利用できません。TELポート（加入電話機等）にて指定着信機能の設定をしている場合でも、「テレビ電話」の利用は可能です。

■「テレビ電話」のご利用方法

● 通信機器

- 本サービスのご利用には、「ドコモ光電話」に対応したテレビ電話対応機器が必要です。
- 通話相手も、ひかり電話および法人向けひかり電話に対応したテレビ電話対応機器をお持ちである必要があります。

● 接続方法

- 本サービス対応の電話機は「ドコモ光電話対応ルーター」のLANポートに接続します。
- 「ドコモ光電話対応ルーター」の設定が必要となる場合があります。

高音質電話のサービス概要

※「高音質電話」は、「ドコモ光電話」の基本サービスとしてご利用になれます。

■「高音質電話」の機能

ひかり電話および法人向けひかり電話契約者同士なら、従来の加入電話よりも高音質で通話ができる機能です。
標準音声の周波数帯域（3.4kHzまで）と比べ、約2倍の帯域（7kHzまで）を使用するため、よりクリアな通話を実現します。

※東日本エリアから西日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。
※西日本エリアから東日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。

※別途、高音質電話対応機器が必要です。
※NTT東日本・NTT西日本が提供するひかり電話から「ドコモ光電話」に「転用」された一部のお客さまにおいては、別途お申込みが必要となる場合があります。
※「高音質電話」による通話は、標準音質の通話と同じ通話料3分8.8円となります。

■ご利用上の留意事項

- 通話先の電話機が「高音質電話」に対応していない場合、標準音質での通話となります。
- 「高音質電話」対応の電話機から117（時報）や177（天気予報）※等のガイダンスをお聞きになる場合は、標準音質の音声となります。
  ※177は2025年3月31日にサービス提供を終了いたしました。なお、ガイダンスが流れている間は通話料がかかりますのでご注意ください。

●他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
通話中着信	お話し中に「高音質電話」対応の電話機から電話がかかってきた場合、かかってきた電話との通話は標準音質の通話となります。

■「高音質電話」のご利用方法

●通信機器

- 本サービスのご利用には、対応電話機が必要です。
- 通話相手が本サービスに対応した電話機をお持ちである必要があります。

●接続方法

- 本サービス対応の電話機は「ドコモ光電話対応ルーター」のLANポートに接続します。
- 「ドコモ光電話対応ルーター」の設定が必要となる場合があります。

データ接続のサービス概要

※「データ接続」は、「ドコモ光電話」の基本サービスとしてご利用になれます。

■「データ接続」の機能

「データ接続」とは、ひかり電話および法人向けひかり電話契約者同士が、ひかり電話の電話番号を利用して写真やファイル共有などのデータ通信ができる機能です。

※東日本エリアから西日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。
※西日本エリアから東日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。

※別途、対応機器が必要です。
※NTT東日本・NTT西日本が提供するひかり電話から「ドコモ光電話」に「転用」された一部のお客さまにおいては、別途お申込みが必要となる場合があります。

■ ご利用上の留意事項

● 通信先が「データ接続」に対応していない機器の場合、「データ接続」での接続はできません。

■ 他のオプションサービス等と併せてご利用の場合の留意事項

サービス名等	留意事項
ナンバー・リクエスト	「データ接続」で着信した場合、音声メッセージでの応答はしません。
通話中着信	お話し中に、「データ接続」で着信した場合、「通話中着信」は作動しません。
迷惑電話ストップサービス	「迷惑電話リスト」に登録された電話番号からの着信が、「データ接続」による場合には着信拒否はされますが、メッセージで応答はしません。

個人情報保護に関するご案内

プライバシーポリシーについて、詳しくは「ドコモのホームページ」でご確認ください。

https://www.docomo.ne.jp/utility/privacy/

契約約款

契約約款について、詳しくは「ドコモのホームページ」でご確認ください。

https://www.docomo.ne.jp/corporate/disclosure/agreement/index.html

ドコモ光ホームページ

サービスに関する最新情報、サポート情報等について、詳しくは「ドコモのホームページ」でご確認ください。

https://www.docomo.ne.jp/internet/hikari/index.html

※表記の金額は特に記載のある場合を除きすべて税込です。
※本ご利用ガイドには、月額利用料、工事料等の金額ごとの消費税込の総額を表示しておりますが、実際のご請求額は個々の税抜額の合計から税額を算出するため、お手元で計算された額と実際の請求額が異なる場合があります。
※記載の社名や製品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。
※本冊子に記載の内容は、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

本ご利用ガイドの内容は2024年12月1日現在のものです。 2024.12
株式会社NTTドコモ